



CHAPTER 14

vPC コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチで使用可能な Cisco NX-OS 仮想ポート チャンネル (vPC) コマンドについて説明します。

abort (スイッチ プロファイル)

現在のスイッチ プロファイルの設定を廃棄するには、**abort** コマンドを使用します。

abort

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

スイッチ プロファイルにインポートされた設定を廃棄する場合は、このコマンドを使用します。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルの設定を廃棄する例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# import running-config
switch(config-sync-sp-import)# exit
switch(config-sync-sp)# abort
switch(config-sync-sp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
commit	スイッチ プロファイル設定をコミットします。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
import	スイッチ プロファイルに設定をインポートします。
show switch-profile buffer	スイッチ プロファイル バッファに関する情報を表示します。
show running-config switch-profile	スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。
verify	スイッチ プロファイルの設定を確認します。

auto-recovery

仮想ポートチャネル (vPC) ピアリンクを復元する時間を設定するには **auto-recovery** コマンドを使用します。デフォルトの遅延値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

auto-recovery [**reload-delay** *delay_value*]

no auto-recovery [**reload-delay** *delay_value*]

構文の説明	reload-delay	(任意) vPC ピアが停止していると判断するまでの待機時間を指定します。この時間が経過すると、vPC リンクを復元します。
	<i>delay_value</i>	vPC リンクを復元するまでの時間 (秒単位)。範囲は 240 ~ 3600 で、デフォルトは 240 です。

コマンドデフォルト 240 秒

コマンドモード vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、vPC ドメイン 100 の 240 秒 (デフォルト値) の自動回復間隔をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# vpc domain 100
switch(config-vpc-domain)# auto-recovery
Warning:
  Enables restoring of vPCs in a peer-detached state after reload, will wait for
  240 seconds (by default) to determine if peer is un-reachable
switch(config-vpc-domain)#
```

次に、vPC ドメイン 200 の 300 秒の自動回復遅延期間を設定する例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# vpc domain 200
switch(config-vpc-domain)# auto-recovery reload-delay 300
Warning:
  Enables restoring of vPCs in a peer-detached state after reload, will wait for
  240 seconds (by default) to determine if peer is un-reachable
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	vpc domain	vPC ドメインを設定します。
	show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

buffer-delete

スイッチ プロファイル バッファからコマンドを削除するには、**buffer-delete** コマンドを使用します。

buffer-delete {*sequence-no* | **all**}

構文の説明	<i>sequence-no</i>	削除するコマンドの ID。ID の範囲はハイフン (-) を使用して区切ります (たとえば、10-14)。
	all	すべてのバッファリングされたコマンドを削除するように指定します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン スイッチ プロファイルに作成した誤った設定を修正する場合、またはソフトウェア アップグレード後にピアと同期する特定のコンフィギュレーション コマンドが必要ない場合は、このコマンドを使用します。

例 次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルからバッファリングされたコマンドを削除する例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# show switch-profile s5010 buffer
-----
Seq-no  Command
-----
1       interface ethernet 1/1
1.1     switchport mode trunk
1.2     speed 1000
2       interface port-channel 102
2.1     vpc 1
2.2     switchport mode trunk

switch(config-sync-sp)# buffer-delete 2-2.2
switch(config-sync-sp)# show switch-profile s5010 buffer
-----
Seq-no  Command
-----
1       interface ethernet 1/1
1.1     switchport mode trunk
1.2     speed 1000
```

```
switch(config-sync-sp) #
```

関連コマンド

コマンド	説明
buffer-move	スイッチ プロファイル バッファのコマンドの順序を修正します。
commit	スイッチの設定にコマンドを適用します。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show switch-profile buffer	スイッチ プロファイル バッファに関する情報を表示します。
verify	スイッチ プロファイルのコマンドを確認します。

buffer-move

スイッチ プロファイル バッファのコマンドの順序を変更するには、**buffer-move** コマンドを使用します。

buffer-move *from-sequence-no to-sequence-no*

構文の説明

<i>from-sequence-no</i>	バッファの現在の場所から移動されるコマンドの ID。ID の範囲はハイフン (-) を使用して区切ります (たとえば、10-14)。
<i>to-sequence-no</i>	コマンドが移動される場所の ID。ID の範囲はハイフン (-) を使用して区切ります (たとえば、10-14)。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

スイッチ プロファイル バッファのコンフィギュレーション コマンドの順序と優先順位を変更する場合は、このコマンドを使用します。

例

次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルのバッファリングされたコマンドの順序を変更する例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# show switch-profile s5010 buffer
-----
Seq-no  Command
-----
1       interface ethernet 1/1
1.1    switchport mode trunk
1.2    speed 1000
2       interface port-channel 102
2.1    vpc 1
2.2    switchport mode trunk

switch(config-sync-sp)# buffer-move 2 1
switch(config-sync-sp)# show switch-profile s5010 buffer
-----
Seq-no  Command
-----
1       interface port-channel 102
1.1    vpc 1
```

```
1.2      switchport mode trunk
2        interface ethernet 1/1
2.1      switchport mode trunk
2.2      speed 1000
```

```
switch(config-sync-sp) #
```

関連コマンド

コマンド	説明
buffer-delete	スイッチ プロファイル バッファからコマンドを削除します。
commit	スイッチの設定にコマンドを適用します。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show switch-profile buffer	スイッチ プロファイル バッファに関する情報を表示します。
verify	スイッチ プロファイルのコマンドを確認します。

command (ポート プロファイル)

ポート プロファイルのコマンドを追加または変更するには、ポート プロファイルでサポートされるコマンドを使用します。スイッチ プロファイルからコマンドを削除するには、サポートされているコマンドの **no** 形式を使用します。

command argument

no *command argument*

構文の説明

<i>command</i>	ポート プロファイルでサポートされるコマンド。
<i>argument</i>	サポートされるコマンドの引数。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

イーサネット、VLAN、または EtherChannel インターフェイスのインターフェイス コマンドを（バッチ モードで）設定するには、このコマンドを使用します。

ポート プロファイルに含まれるコマンドは、ポート プロファイル外で設定できます。ポート プロファイルの新規設定がポート プロファイル外の設定と競合する場合、設定端末モードのインターフェイスに設定されたコマンドは、ポート プロファイルのコマンドよりプライオリティが高くなります。ポート プロファイルをインターフェイス設定にアタッチしてからインターフェイス設定を変更し、その設定がポート プロファイルの設定と競合する場合、インターフェイスの設定が優先されます。

コマンドの **no** 形式を使用してポート プロファイルからコマンドを削除できます。ポート プロファイルからコマンドを削除すると、関連するコマンドはポート プロファイルにアタッチされたインターフェイスから削除されます。

例

次に、イーサネット インターフェイス用に設定された ppEth というポート プロファイルにインターフェイス コマンドを追加する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# switchport mode trunk
switch(config-port-prof)# switchport trunk allowed vlan 300-400
switch(config-port-prof)# flowcontrol receive on
switch(config-port-prof)# speed 10000
switch(config-port-prof)#
```

次に、イーサネット インターフェイス用に設定された ppEth というポート プロファイルからコマンドを削除する例を示します。


```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# switchport mode trunk
switch(config-port-prof)# switchport trunk allowed vlan 300-400
switch(config-port-prof)# flowcontrol receive on
switch(config-port-prof)# no speed 10000
switch(config-port-prof)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
inherit	インターフェイスにポート プロファイルをアタッチします。
show port-profile name	特定のポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。
state enabled	ポート プロファイルをイネーブルにします。

command (スイッチ プロファイル)

スイッチ プロファイルのコマンドを追加または変更するには、スイッチ プロファイルでサポートされるコマンドを使用します。スイッチ プロファイルからコマンドを削除するには、サポートされているコマンドの **no** 形式を使用します。

command argument

no *command argument*

構文の説明

<i>command</i>	スイッチ プロファイルでサポートされるコマンド。
<i>argument</i>	サポートされるコマンドの引数。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

各ピアにスイッチ プロファイルを設定したら、スイッチ プロファイルにインターフェイス設定、Quality of Service (QoS)、および仮想ポート チャンネル (vPC) コマンドを追加できます。



(注)

このリリースの Cisco NX-OS では、FCoE コマンドはスイッチ プロファイルでサポートされません。

追加または変更するコマンドは、**commit** コマンドを使用して、スイッチの設定に適用するまでスイッチ プロファイル バッファに保存されます。また、スイッチの設定に適用する前にバッファのコマンドを (**verify** コマンドを使用して) 確認できます。設定をコミットした後、スイッチ プロファイル設定にコマンドを引き続き追加することも、コマンドを削除することもできます。設定を再度コミットすると、アップデートされたコマンドが確認されてスイッチ プロファイルの設定に適用され、設定がピア間で同期されます。

コマンドは、バッファリングされた順序で実行されます。**buffer-delete** コマンドを使用してスイッチ プロファイル バッファからコマンドを削除でき、**buffer-move** コマンドを使用してスイッチ プロファイル バッファの優先順位を変更できます。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルにインターフェイス コマンドを追加する例を示します。

Peer A

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
```

```
switch(config-sync-sp)# interface ethernet 1/1
switch(config-sync-sp-if)# switchport mode trunk
switch(config-sync-sp-if)# speed 1000
switch(config-sync-sp-if)# exit
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルにコマンドを追加する例を示します。

Peer B

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# interface ethernet 1/1
switch(config-sync-sp-if)# switchport mode trunk
switch(config-sync-sp-if)# speed 1000
switch(config-sync-sp-if)# interface port-channel 102
switch(config-sync-sp-if)# vpc 1
switch(config-sync-sp-if)# switchport mode trunk
switch(config-sync-sp-if)# exit
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルからコマンドを削除する例を示します。

Peer B

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# interface ethernet 1/1
switch(config-sync-sp-if)# switchport mode trunk
switch(config-sync-sp-if)# speed 1000
switch(config-sync-sp-if)# interface port-channel 102
switch(config-sync-sp-if)# vpc 1
switch(config-sync-sp-if)# no switchport mode trunk <-- command removed from configuration
switch(config-sync-sp-if)# exit
switch(config-sync-sp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
buffer-delete	スイッチ プロファイル バッファからコマンドを削除します。
buffer-move	スイッチ プロファイル バッファのコマンドの順序を修正します。
commit	スイッチの設定にコマンドを適用します。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show switch-profile buffer	スイッチ プロファイル バッファに関する情報を表示します。
show switch-profile status	スイッチ プロファイルのステータスを表示します。
verify	スイッチ プロファイルのコマンドを確認します。

commit (スイッチ プロファイル)

スイッチ プロファイル バッファでコマンドをコミットし、スイッチの設定を保存するには、**commit** コマンドを使用します。

commit

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

スイッチ プロファイルの設定を保存し、ピア スイッチで設定を同期するには、このコマンドを使用します。コミットが失敗した場合、手動でコンフィギュレーション コマンドを修正し、再度設定をコミットする必要があります。

設定のコミット時に設定がピア スイッチで一様に適用されるようにするために、次の操作が行われます。

- ピア スイッチに到達可能な場合は両方のスイッチの相互排他チェック (**mutex-check**) のコマンドを確認します。そうでない場合、**mutex-check** はローカルで実行されます。



(注) スイッチ プロファイルに含まれるコマンドはスイッチ プロファイル外またはピア スイッチでは設定できません。スイッチ プロファイルの新規設定が、スイッチ プロファイル外または別のスイッチ プロファイル内にある設定と競合していないことを確認します。この機能は、相互排他 (**mutex**) チェックと呼ばれます。

- ロールバック インフラストラクチャでチェックポイントを作成します。
- ローカル スイッチおよびピア スイッチに設定を適用します。

いずれかのスイッチにコミットの障害がある場合、両方のスイッチで設定がロールバックされます。

- チェックポイントを削除します。

コミット中、次のように、スイッチ プロファイルのコンフィギュレーション リビジョンがピア スイッチの設定の同期を決定するために使用されます。

- ローカル スイッチ プロファイルのリビジョン番号がピアと同じで、同期しなければならない設定がローカルで適用される場合、設定がピアで同期されます。
- リビジョン番号が両方のスイッチで同じで、ピアと同期しなければならない設定がローカルで適用されない場合、同期セッションはただちに終了します。

- ローカル スイッチのリビジョン番号がピア スイッチのリビジョン番号と一致しない場合、設定はピアで同期されます。

スイッチ プロファイル設定をコミットした後、スイッチ プロファイルに対してコマンドの追加または削除を続行できます。設定を再度コミットすると、アップデートされたコマンドだけが確認に使用され、設定がスイッチ プロファイルに適用されて、ピア スイッチと同期されます。

例

次に、ピアのスイッチ 1 で s5010 というスイッチ プロファイルの変更を適用する例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# interface ethernet 1/1
switch(config-sync-sp-if)# switchport mode trunk
switch(config-sync-sp-if)# speed 1000
switch(config-sync-sp-if)# exit
switch(config-sync-sp)# commit
switch(config-sync-sp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show switch-profile	スイッチ プロファイルおよびコンフィギュレーション リビジョンに関する情報を表示します。
show switch-profile buffer	スイッチ プロファイル バッファに関する情報を表示します。
show running-config switch-profile	スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。
verify	スイッチ プロファイルのコマンドを確認します。

config sync

設定同期モードを開始し、スイッチ プロファイルを作成するには、**config sync** コマンドを使用します。

config sync

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

同期するローカルおよびピア スイッチで **config sync** コマンドを使用します。

スイッチの設定を同期する前に、次のことを確認する必要があります。

- ピア スイッチを識別します。
- ピア スイッチの管理インターフェイス (mgmt0) で IPv4 上の Cisco Fabric Services (CFS) 配信をイネーブルにします。

設定の同期機能を使用すると、1 台のスイッチ上で作成される設定は同期化され、ピア スイッチで使用できるようになります。

config sync コマンドを使用した後、ピア スイッチでスイッチ プロファイルを作成または設定できません。

例

次に、ピア設定のスイッチの IPv4 上の CFS をイネーブルにし、スイッチで設定同期モードを開始する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# cfs ipv4 distribute
switch(config)# exit
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cfs ipv4 distribute	スイッチの IPv4 上の CFS 配信をイネーブルにします。
switch-profile	スイッチ プロファイルを作成または設定します。

copy running-config startup-config

現在のすべての設定情報をリブート後にも使用可能になるよう、実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存するには、**copy running-config startup-config** コマンドを使用します。

copy running-config startup-config

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

変更した設定を表示するには、**show startup-config** コマンドを使用します。



(注)

copy running-config startup-config コマンドを入力した後は、実行中の設定と起動時の設定が同じになります。

例

次に、実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存する例を示します。

```
switch# copy running-config startup-config
[#####] 100%
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config	現在実行中のコンフィギュレーションを表示します。
show startup-config	スタートアップコンフィギュレーションファイルを表示します。

delay restore

ピアの隣接がすでに確立されているときにリロード後の復元された vPC ピア デバイスの起動から仮想ポート チャネル (vPC) を遅延するには、**delay restore** コマンドを使用します。デフォルトの遅延値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

delay restore *time*

no delay restore *time*

構文の説明	<i>time</i>	復元された vPC ピア デバイスの起動を遅延する秒数。有効な範囲は 1 ~ 3600 です。
-------	-------------	---

コマンド デフォルト	30 秒
------------	------

コマンド モード	vPC ドメイン コンフィギュレーション モード
----------	--------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	vPC ピア デバイスを回復するときに、アクセス デバイスからコアへのアップストリーム トラフィックがドロップされないようにするには、 delay restore コマンドを使用します。 このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
------------	---

例	次に、vPC リンクの遅延リロード時間を設定する例を示します。
---	---------------------------------

```
switch(config)# vpc domain 1
switch(config-vpc-domain)# delay restore 10
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show vpc	vPC の設定を表示します。

description (ポート プロファイル)

ポート プロファイルの目的のサマリーを入力するには、**description** コマンドを使用します。ポート プロファイルの説明のサマリーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

description *text*

no description

構文の説明	<i>text</i>	ポート プロファイルの目的のサマリー。サマリーは最大 80 文字で、スペースを含めることができます。
-------	-------------	--

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	ポート プロファイル コンフィギュレーション モード
----------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、ポート プロファイルの目的を特定するために ppEth というポート プロファイルの説明を入力する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# description Port profile to configure batch commands for
Ethernet interfaces
switch(config-port-prof)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
	show port-profile	ポート プロファイルに関する情報を表示します。
	show port-profile brief	ポート プロファイルに関する要約情報を表示します。
	show port-profile name	特定のポート プロファイルに関する情報を表示します。
	show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

dual-active exclude interface-vlan

vPC の設定自体ではなく、仮想ポート チャンネル (vPC) ピア リンクを通過した VLAN の vPC ピア リンクに障害がある場合、特定の VLAN インターフェイスが vPC セカンダリ ピア デバイスでシャットダウンしないようにするには、**dual-active exclude interface-vlan** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

dual-active exclude interface-vlan {range}

no dual-active exclude interface-vlan {range}

構文の説明	<i>range</i>	シャットダウンしないようにする VLAN インターフェイスの範囲。範囲は 1 ~ 4094 です。
-------	--------------	---

コマンド デフォルト なし

コマンド モード vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン VLAN インターフェイスがあらかじめ設定されている必要があります。このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、ピア リンクに障害がある場合でも vPC ピア デバイスで VLAN インターフェイスが稼動し続けるようデバイスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vpc domain 5
switch(config-vpc-domain)# dual-active exclude interface-vlan 10
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
	show vpc	vPC 設定情報を表示します。

feature vpc

仮想ポートチャネル (vPC) をイネーブルにするには、**feature vpc** コマンドを使用します。vPC をイネーブルにすると、2 つの異なる Cisco Nexus 5000 シリーズ デバイスに物理的に接続されるリンクを 3 番目のデバイスの単一ポートチャネルとして表示できます。スイッチで vPC をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature vpc

no feature vpc

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

vPC の設定では、3 番目のデバイスは Cisco Nexus 2000 シリーズ Fabric Extender、スイッチ、サーバ、その他の任意のネットワークング デバイスのいずれでもかまいません。

例

次に、スイッチの vPC をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature vpc
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc	vPC 設定ステータスを表示します。
show feature	vPC がスイッチでイネーブルになっているかどうかを表示します。

graceful consistency-check

仮想ポート チャンネル (vPC) ドメインのグレースフル タイプ 1 整合性機能をイネーブルにするには、**graceful consistency-check** コマンドを使用します。グレースフル タイプ 1 整合性機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

graceful consistency-check

no graceful consistency-check

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

イネーブル

コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、vPC ドメイン 100 のグレースフル タイプ 1 整合性機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# vpc domain 100
switch(config-vpc-domain)# graceful consistency-check
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
vpc domain	vPC ドメインを設定します。
show vpc brief	vPC の情報を表示します。vPC 機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。

import interface

スイッチ プロファイルにインターフェイス設定をインポートするには、**import interface** コマンドを使用します。

```
import interface {ethernet slot/port | port-channel channel-no}
```

構文の説明

ethernet	スイッチ プロファイルにインポートするイーサネット インターフェイス設定を指定します。
<i>slot/port</i>	シャーシまたはスロット番号およびポートまたはスロット番号。スロットは 1 ~ 255、ポートは 1 ~ 128 を指定できます。
port-channel	スイッチ プロファイルにインポートする EtherChannel インターフェイス設定を指定します。
<i>channel-no</i>	EtherChannel 番号。範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

オプションが **import** コマンドで指定されていない場合、空のスイッチ プロファイルが作成されます。その後、ピア スイッチと同期する必要がある設定を選択的に追加できます。

インポートするコマンドのセットに基づいてスイッチ プロファイルをインポートできます。次の 3 種類の方法が設定端末モードを使用して追加されたコマンドのインポートに使用できます。

1. スイッチ プロファイルに選択されたコマンドを追加します。
2. インターフェイスに指定されたサポートされているコマンドを追加します。
3. サポートされているシステムレベル コマンドを追加します。

スイッチ プロファイルにコマンドをインポートする場合、スイッチ プロファイル バッファが空である必要があります。

インポート プロセスを完了し、スイッチ プロファイルに設定を移動するには、**commit** コマンドを使用します。設定変更がインポート プロセス時にサポートされていないため、新しいコマンドが **commit** コマンドを入力する前に追加されると、スイッチ プロファイルが保存されないまま残り、スイッチはスイッチ プロファイル インポート モード (**config-sync-sp-import**) のままになります。追加したコマンドを削除、または **abort** コマンドを使用してインポートを停止できます。未保存の設定は、プロセスが中断されると失われます。新しいコマンドはインポートが完了した後にスイッチ プロファイルに追加できます。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルにイーサネット インターフェイス設定をインポートする例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# show switch-profile s5010 buffer

switch-profile   : s5010
-----
Seq-no  Command
-----

switch(config-sync-sp)# import interface ethernet 1/1
switch(config-sync-sp)# show switch-profile buffer

switch-profile   : s5010
-----
Seq-no  Command
-----
1       interface Ethernet1/1

switch(config-sync-sp-import)# commit
Verification successful...
Proceeding to apply configuration. This might take a while depending on amount o
f configuration in buffer.
Please avoid other configuration changes during this time.
Commit Successful
switch(config-sync)#
```

次に、ピアのスイッチ 1 の sp100 という名前の空のスイッチ プロファイルを作成し、コンフィギュレーション コマンドを追加する例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile sp100
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# show switch-profile sp100 buffer

switch-profile   : sp100
-----
Seq-no  Command
-----

switch(config-sync-sp)# import
switch(config-sync-sp-import)# interface port-channel 100
switch(config-sync-sp-import-if)# switchport mode trunk
switch(config-sync-sp-import-if)# vpc peer-link
switch(config-sync-sp-import-if)# exit
switch(config-sync-sp-import)# commit
Verification successful...
Proceeding to apply configuration. This might take a while depending on amount o
f configuration in buffer.
Please avoid other configuration changes during this time.
Commit Successful
switch(config-sync)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
abort	現在のスイッチ プロファイルの設定を廃棄します。
commit	スイッチ プロファイル設定をコミットします。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show switch-profile buffer	スイッチ プロファイル バッファに関する情報を表示します。
show running-config switch-profile	スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

import running-config

スイッチ プロファイルに実行コンフィギュレーションをインポートするには、**import running-config** コマンドを使用します。

import running-config [exclude interface ethernet]

構文の説明

exclude	(任意) 現在の実行コンフィギュレーションをスイッチ プロファイルにインポートするときに除外する設定を指定します。
interface	(任意) インポート操作中にインターフェイス設定が除外されるように指定します。
ethernet	(任意) すべてのイーサネット インターフェイス設定がインポート操作中に実行コンフィギュレーションから除外されるように指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。
5.0(2)N2(1)	exclude interface ethernet キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

import running-config exclude interface ethernet コマンドは、インポート操作中に実行コンフィギュレーションのすべての物理インターフェイス コマンドを廃棄します。

オプションが **import** コマンドで指定されていない場合、空のスイッチ プロファイルが作成されます。その後、ピア スイッチと同期する必要がある設定を選択的に追加できます。

インポートするコマンドのセットに基づいてスイッチ プロファイルをインポートできます。次の 3 種類の方法が設定端末モードを使用して追加されたコマンドのインポートに使用できます。

1. スイッチ プロファイルに選択されたコマンドを追加します。
2. インターフェイスに指定されたサポートされているコマンドを追加します。
3. サポートされているシステムレベル コマンドを追加します。

スイッチ プロファイルにコマンドをインポートする場合、スイッチ プロファイル バッファが空である必要があります。

インポート プロセスを完了し、スイッチ プロファイルに設定を移動するには、**commit** コマンドを使用します。設定変更がインポート プロセス時にサポートされていないため、新しいコマンドが **commit** コマンドを入力する前に追加されると、スイッチ プロファイルが保存されないまま残り、スイッチはスイッチ プロファイル インポート モード (**config-sync-sp-import**) のままになります。追加したコマンドを削除、または **abort** コマンドを使用してインポートを停止できます。未保存の設定は、プロセスが中断されると失われます。新しいコマンドはインポートが完了した後にスイッチ プロファイルに追加できます。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルに実行コンフィギュレーションをインポートする例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# show switch-profile buffer

switch-profile : s5010
-----
Seq-no  Command
-----

switch(config-sync-sp)# import running-config exclude interface ethernet
switch(config-sync-sp-import)# show switch-profile buffer

switch-profile : s5010
-----
Seq-no  Command
-----
2       interface port-channel1
2.1     vpc 1
2.2     speed 10000
3       interface port-channel100
3.1     vpc peer-link
3.2     spanning-tree port type network
3.3     speed 10000

switch(config-sync-sp-import)# commit
Verification successful...
Proceeding to apply configuration. This might take a while depending on amount of
configuration in buffer.
Please avoid other configuration changes during this time.
Commit Successful
switch(config-sync)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
abort	現在のスイッチ プロファイルの設定を廃棄します。
commit	スイッチ プロファイル設定をコミットします。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show switch-profile buffer	スイッチ プロファイル バッファに関する情報を表示します。
show running-config switch-profile	スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

inherit port-profile

ポート プロファイルを既存のプロファイルに継承するか、インターフェイスにポート プロファイルの設定を適用するには、**inherit port-profile** コマンドを使用します。継承を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

inherit port-profile *port-profile-name*

no inherit port-profile *port-profile-name*

構文の説明

<i>port-profile-name</i>	ポート プロファイルの名前。名前は大文字と小文字が区別され、最大 80 文字の英数字で、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
--------------------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション モード
インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ポート プロファイルをインターフェイスまたはインターフェイスの範囲にアタッチするときにポート プロファイルを継承します。ポート プロファイルをインターフェイスまたはインターフェイスの範囲にアタッチ、または継承する場合、そのポート プロファイルのすべてのコマンドがインターフェイスに適用されます。インターフェイス タイプに対して設定されているポート プロファイルはそのタイプのインターフェイスにだけ適用できます。たとえば、VLAN インターフェイス用に作成されたポート プロファイルは VLAN インターフェイスにアタッチされている必要があります。インターフェイスにポート プロファイルをアタッチ後ポート プロファイルを削除すると、ポート プロファイルの設定がインターフェイスから削除されます。

ポート プロファイル設定をインターフェイスに適用するには、そのポート プロファイルをイネーブルにする必要があります。

例

次に、**test** という名前の既存のポート プロファイルにイーサネット インターフェイス用に設定された **ppEth** という名前のポート プロファイルを継承する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile test
switch(config-port-prof)# inherit port-profile ppEth
switch(config-port-prof)#
```

次に、イーサネット インターフェイス範囲にイーサネット インターフェイス用に設定された **ppEth** という名前のポート プロファイルを割り当てる例を示します。

```
switch# configure terminal
```

```
switch(config)# interface ethernet 1/2-5
switch(config-if)# inherit port-profile ppEth
switch(config-if)#
```

次に、test という名前の既存のポート プロファイルから継承された ppEth というポート プロファイル を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile test
switch(config-port-prof)# no inherit port-profile ppEth
switch(config-port-prof)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
command (ポートプロファイル)	ポート プロファイルにコマンドを追加します。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show port-profile name	特定のポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config interface	インターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。
state enabled	ポート プロファイルをイネーブルにします。

ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link

仮想ポート チャネル (vPC) ピア リンクへのスタティック接続を設定するには、**ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link** コマンドを使用します。スタティック接続を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link

no ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

デフォルトでは、vPC ピア リンクは IGMP スヌーピング mrouter ポートと見なされます。マルチキャストトラフィックは、送信元 VLAN と各受信側 VLAN のピア リンクに送信されます。**no ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link** コマンドを使用する場合、VLAN に孤立ポートがない限り、マルチキャストトラフィックは、送信元 VLAN と受信側 VLAN のピア リンクに送信されません。



(注)

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) では、**no ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link** コマンドは、デュアルホーム接続 Cisco Nexus 2000 シリーズ Fabric Extender が Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチに接続されているトポロジではサポートされません。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、vPC ピア リンクへのスタティック接続を設定する例を示します。

```
switch(config)# ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link
switch(config)#
```

次に、vPC ピア リンクへのスタティック接続を削除する例を示します。

```
switch(config)# no ip igmp snooping mrouter vpc-peer-link
Warning: IGMP Snooping mrouter vpc-peer-link should be globally disabled on peer
VPC switch as well.
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ip igmp snooping</code>	IGMP スヌーピング情報を表示します。

peer-config-check-bypass

Multichassis EtherChannel トランク (MCT) がダウンしているときにプライマリ vPC デバイスでタイプチェックを無視するには、**peer-config-check-bypass** コマンドを使用します。タイプチェックの無視を停止するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

peer-config-check-bypass

no peer-config-check-bypass

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Multichassis EtherChannel トランク (MCT) とも呼ばれているピアリンクは、vPC ピアスイッチを接続します。ピアリンクでは常に転送が行われています。セカンダリ vPC ピアの vPC ポートで受信された Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコルデータユニット) パケットまたは Link Aggregation Control Protocol (LACP) パケットは、ピアリンク経由でプライマリ vPC ピアに転送され、処理されます。

ピアリンクは、vPC ピアスイッチの MAC アドレスを同期するために使用され、マルチキャストトラフィックに必要な転送を提供します。また、ピアリンクは孤立ポート (つまり、vPC ポートではないポート) 宛てに発信されたトラフィックを転送するためにも使用されます。

例

次に、MCT がダウンしているときにタイプチェックを無視するようにプライマリ vPC デバイスを設定する例を示します。

```
switch(config-vpc-domain)# peer-config-check-bypass
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。
show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
show vpc brief	各 vPC ドメインに関する要約情報を表示します。

コマンド	説明
show vpc peer-keepalive	ピアキープアライブ リンクの状態を表示します。
show vpc statistics	キープアライブ メッセージのコンフィギュレーションに関する情報を表示します。

peer-gateway

仮想ポート チャンネル (vPC) のゲートウェイ MAC アドレスを宛先とするパケットのレイヤ 3 転送をイネーブルにするには、**peer-gateway** コマンドを使用します。パケットのレイヤ 3 転送をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

peer-gateway

no peer-gateway

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

vPC ピアゲートウェイ機能は、vPC スイッチが、vPC ピアのルータ MAC アドレスを宛先とするパケットに対して、アクティブなゲートウェイとして機能することを可能にします。この機能は、このようなパケットが vPC ピアリンクを通過する必要なしにローカルに転送されることを可能にします。このシナリオでは、この機能は、ピアリンクの使用を最適化し、トラフィック損失の可能性をなくします。

両方の vPC ピア スイッチのピアゲートウェイ機能を設定する必要があります。



(注)

このコマンドは、Cisco Nexus 5548 スイッチと Cisco Nexus 5596 スイッチに適用できます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、vPC ピア ゲートウェイをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# vpc domain 20
switch(config-vpc-domain)# peer-gateway
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show vpc	vPC に関する情報を表示します。

peer-keepalive

キープアライブメッセージを送送する vPC ピア キープアライブリンクのリモートエンドの IPv4 アドレスを設定するには、**peer-keepalive** コマンドを使用します。ピア キープアライブリンクの関連付けを解除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
peer-keepalive destination ipv4_address [hold-timeout holdtime_seconds | interval
mseconds {timeout seconds} | {precedence {prec_value | critical | flash |
flash-override | immediate | internet | network | priority | routine}} | source
ipv4_address | tos {tos_value | max-reliability | max-throughput | min-delay |
min-monetary-cost | normal} | tos-byte tos_byte_value | udp-port udp_port | vrf
{vrf_name | management}]
```

```
no peer-keepalive destination ipv4_address [hold-timeout holdtime_seconds | interval
mseconds {timeout seconds} | {precedence {prec_value | critical | flash |
flash-override | immediate | internet | network | priority | routine}} | source
ipv4_address | tos {tos_value | max-reliability | max-throughput | min-delay |
min-monetary-cost | normal} | tos-byte tos_byte_value | udp-port udp_port | vrf
{vrf_name | management}]
```

構文の説明

destination	リモート（セカンダリ）vPC デバイス インターフェイスを指定します。
<i>ipv4_address</i>	vPC デバイスの <i>A.B.C.D</i> 形式の IPv4 アドレス。
hold-timeout <i>holdtime_seconds</i>	(任意) セカンダリ vPC ピア デバイスが vPC ピアキープアライブ メッセージを無視するホールドタイムアウト時間を（秒単位で）指定します。有効な範囲は 3 ～ 10 です。デフォルトのホールドタイムアウト値は 3 秒です。
interval <i>mseconds</i>	(任意) vPC デバイスがピアキープアライブ メッセージを受信する時間間隔を（ミリ秒単位で）指定します。有効な範囲は 400 ～ 10000 です。 vPC ピアキープアライブ メッセージのデフォルトの時間間隔は 1 秒です。
timeout <i>seconds</i>	(任意) リモート（セカンダリ）vPC デバイスへの再送信間隔のタイムアウトを（秒単位で）指定します。有効な範囲は 3 ～ 20 です。 デフォルトのタイムアウト値は 5 秒です。

precedence	(任意) IP ヘッダーの Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) バイトフィールドの precedence 値に基づいて、vPC ピアキーブアライブ インターフェイス トラフィックを分類します。 precedence 値は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>prec_value</i> : IP precedence 値。範囲は 0 ~ 7 です。デフォルトの precedence 値は 6 です。 • critical : クリティカル precedence (5) • flash : フラッシュ precedence (3) • flash-override : フラッシュ上書き precedence (4) • immediate : 即時 precedence (2) • internet : インターネット precedence (6) • network : ネットワーク precedence (7) • priority : 優先 precedence (1) • routine : ルーチン precedence (0)
source	(任意) 送信元 (プライマリ) vPC デバイス インターフェイスを指定します。
tos	(任意) Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) の値を指定します。 ToS の値は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>tos_value</i> : A 4 ビット ToS 値。範囲は 0 ~ 15 です。 • max-reliability : max-reliability (2) • max-throughput : max-throughput (4) • min-delay : min-delay (8) • min-monetary-cost : min-monetary-cost (1) • normal : normal (0)
tos-byte <i>tos_byte_value</i>	(任意) 8 ビットの ToS 値を指定します。有効な範囲は 0 ~ 255 です。
udp-port <i>udp_port</i>	(任意) ピア キープアライブ リンクに使用される UDP ポート番号を指定します。有効な範囲は 1024 ~ 65000 です。
vrf <i>vrf_name</i>	(任意) ピア キープアライブ リンクに使用される Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) の名前を指定します。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
management	管理 VRF を指定します。これがデフォルトの VRF です。

コマンド デフォルト 管理ポートおよび VRF

コマンド モード vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

システムで vPC ピア リンクを形成できるようにするには、まず vPC ピアキープアライブ リンクを設定する必要があります。ピアキープアライブ メッセージに使用される送信元 IP アドレスと宛先の IP アドレスの両方が、ネットワーク内で一意であることを確認してください。また、vPC ピアキープアライブ リンクに関連付けられている Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) から、これらの IP アドレスが到達可能であることを確認してください。

Cisco NX-OS ソフトウェアは、vPC ピア間でピアキープアライブ リンクを使用して、設定可能なキープアライブ メッセージを定期的送信します。これらのメッセージを送信するには、ピア デバイス間にレイヤ 3 接続が必要です。ピアキープアライブ リンクが起動および動作していないと、システムは vPC ピア リンクを開始できません。

**(注)**

vPC ピアキープアライブ リンクを使用する際は、個別の VRF インスタンスを設定して、各 vPC ピア デバイスからその VRF にレイヤ 3 ポートを接続することを推奨します。ピア リンク自体を使用して vPC ピアキープアライブ メッセージを送信しないでください。

例

次に、プライマリとセカンダリの vPC デバイス間でピア キープアライブ リンク接続を設定する例を示します。

```
switch(config)# vpc domain 100
switch(config-vpc-domain)# peer-keepalive destination 192.168.2.2 source 192.168.2.1
Note:
-----:: Management VRF will be used as the default VRF ::-----
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
vpc peer-link	vPC ピア デバイス間で vPC ピア リンクを作成します。
show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
show vpc peer-keepalive	ピアキープアライブ リンクのステータスを表示します。
show vpc statistics	キープアライブ メッセージのコンフィギュレーションに関する情報を表示します。

port-profile

ポート プロファイルを作成または設定するには、**port-profile** コマンドを使用します。ポート プロファイルを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
port-profile {port-profile-name | type {ethernet | interface-vlan | port-channel}}
port-profile-name
```

```
no port-profile {port-profile-name | type {ethernet | interface-vlan | port-channel}}
port-profile-name
```

構文の説明

<i>port-profile-name</i>	ポート プロファイルの名前。名前は大文字と小文字が区別され、最大 80 文字の英数字で、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
type	設定するポート プロファイルのタイプを指定します。
ethernet	ポート プロファイルがイーサネット インターフェイスに適用されるように指定します。
interface-vlan	ポート プロファイルが VLAN インターフェイスに適用されるように指定します。
port-channel	ポート プロファイルがポート チャネルに適用されるように指定します。

コマンド デフォルト

イーサネット タイプのポート プロファイル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

反復インターフェイス コマンドのバッチを含むポート プロファイルを作成し、スイッチ上のインターフェイスの範囲にポート プロファイルを適用できます。ポート プロファイルは次のインターフェイス タイプに設定および適用できます。

- Ethernet
- VLAN インターフェイス
- ポート チャネル

ポート プロファイルは、1 つのインターフェイスに対して設定されます。そのインターフェイスのポート プロファイルを設定するとき、別のインターフェイスに適用できるコマンドは表示されません。たとえば、ポート チャネル インターフェイスに適用可能なコマンドは、イーサネット インターフェイスにアタッチするポート プロファイルを設定するときに表示されません。

各ポート プロファイルは、インターフェイス タイプ全体で一意的な名前が必要です。

ポート プロファイルを削除すると、ポート プロファイル内で設定されたコマンドは、ポート プロファイルを継承するインターフェイスから削除されます。別のポート プロファイルによって継承されたポート プロファイルを削除する場合は、ポート プロファイルを削除する前に継承を削除する必要があります。

例

次に、イーサネット インターフェイスの ppEth という名前のポート プロファイルを作成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile type Ethernet ppEth
switch(config-port-prof)#
```

次に、ppEth というイーサネット タイプのポート プロファイルを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no port-profile type Ethernet ppEth
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
command (ポート プロファイル)	ポート プロファイルにコマンドを追加します。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
description	ポート プロファイルの説明を追加します。
inherit port-profile	ポート プロファイルを継承します。
show port-profile	ポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーション情報を表示します。

reload restore

仮想ポート チャンネル (vPC) ピア リンクを復元する時間を設定するには、**reload restore** コマンドを使用します。デフォルトの遅延値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

reload restore [**delay** *delay_value*]

no reload restore

構文の説明	
delay	(任意) vPC ピアが停止していると判断するまでの待機時間を指定します。この時間が経過すると、vPC リンクを復元します。
<i>delay_value</i>	vPC リンクを復元するまでの時間 (秒単位)。範囲は 240 ~ 3600 で、デフォルトは 240 です。

コマンド デフォルト 240 秒

コマンド モード vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。
	5.0(2)N2(1)	このコマンドは廃止予定で、 auto-recovery コマンドに置き換えられました。これは、下位互換性のためにいくつかのリリースにわたって保持されます。

例 次に、vPC ドメイン 100 の 240 秒 (デフォルト値) のリロード復元間隔をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# vpc domain 100
switch(config-vpc-domain)# reload restore
Warning:
Enables restoring of vPCs in a peer-detached state after reload, will wait for 240 seconds
(by default) to determine if peer is un-reachable
switch(config-vpc-domain)#
```

次に、vPC ドメイン 200 の 300 秒の遅延時間を設定する例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# vpc domain 200
switch(config-vpc-domain)# reload restore delay 300
Warning:
Enables restoring of vPCs in a peer-detached state after reload, will wait for 240 seconds
(by default) to determine if peer is un-reachable
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>vpc domain</code>	vPC ドメインを設定します。
<code>show running-config vpc</code>	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

role

手動で仮想ポート チャンネル (vPC) デバイスにプライマリまたはセカンダリ ロールを割り当てるには、**role** コマンドを使用します。デフォルトのロール プライオリティを復元するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

role priority *priority_value*

no role priority *priority_value*

構文の説明

priority	vPC コンフィギュレーションにプライマリとセカンダリのロールを定義するプライオリティを指定します。
priority_value	vPC デバイスのプライオリティ値。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

デフォルトでは、vPC ドメインと、vPC ピア リンクの両端を設定すると、Cisco NX-OS ソフトウェアはプライマリとセカンダリの vPC ピア デバイスを選択します。ただし、vPC のプライマリ デバイスとして、特定の vPC ピア デバイスを選択することもできます。選択したら、プライマリ デバイスにする vPC ピア デバイスに、他の vPC ピア デバイスより小さいロール値を手動で設定します。

vPC はロールのプリエンブションをサポートしていません。プライマリ vPC ピア デバイスに障害が発生すると、セカンダリ vPC ピア デバイスが、vPC プライマリ デバイスの機能を引き継ぎます。ただし、以前のプライマリ vPC が再起動しても、機能のロールは元に戻りません。

例

次に、vPC デバイスのロール プライオリティを設定する例を示します。

```
switch(config-vpc-domain)# role priority 100
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
show vpc role	vPC システム プライオリティを表示します。

show feature

スイッチの機能のステータスを表示するには、**show feature** コマンドを使用します。

show feature

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
5.0(2)N1(1)	HTTP サーバおよび特権レベルのサポートが追加されました。
5.0(2)N2(1)	DHCP スヌーピングのサポートが追加されました。
5.0(3)N1(1)	マルチキャストおよびユニキャスト ルーティング機能のサポートが追加されました。
5.0(3)N2(1)	Flex Link および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) の N ポート パーチャライザ (NPV) のサポートが追加されました。

例

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) を実行するスイッチのすべての機能の状態を表示する例を示します。

```
switch# show feature
Feature Name           Instance  State
-----
cimserver              1        disabled
fabric-binding         1        disabled
fc-port-security      1        disabled
fcoe                   1        enabled
fcsp                   1        disabled
fex                    1        enabled
fport-channel-trunk   1        disabled
http-server            1        enabled
interface-vlan         1        enabled
lACP                   1        enabled
lldp                   1        enabled
npiv                   1        disabled
npv                    1        disabled
port_track             1        disabled
private-vlan           1        disabled
sshServer              1        enabled
tacacs                 1        enabled
telnetServer           1        enabled
udld                   1        enabled
vpc                    1        enabled
vtp                    1        disabled
```

```
switch#
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) を実行するスイッチのすべての機能の状態を表示する例を示します。

```
switch# show feature
Feature Name           Instance  State
-----
bgp                    1        disabled
cimserver              1        disabled
dhcp                  1        enabled
eigrp                  1        disabled
eigrp                  2        disabled
eigrp                  3        disabled
eigrp                  4        disabled
fabric-binding        1        disabled
fc-port-security      1        disabled
fcoe                   1        enabled
fcsp                   1        disabled
fex                    1        enabled
fport-channel-trunk  1        disabled
hsrp_engine           1        disabled
interface-vlan        1        enabled
lacp                   1        enabled
ldap                   1        disabled
lldp                   1        enabled
msdp                   1        disabled
npiv                   1        disabled
npv                    1        disabled
ospf                   1        disabled
ospf                   2        disabled
ospf                   3        disabled
ospf                   4        disabled
pim                    1        disabled
port_track            1        disabled
private-vlan          1        enabled
privilege             1        disabled
rip                    1        disabled
rip                    2        disabled
rip                    3        disabled
rip                    4        disabled
sshServer             1        enabled
tacacs                 1        enabled
telnetServer          1        enabled
udld                   1        enabled
vem                    1        disabled
vpc                    1        enabled
vrrp                  1        disabled
vtp                    1        enabled
switch#
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) を実行するスイッチのすべての機能の状態を表示する例を示します。

```
switch# show feature
Feature Name           Instance  State
-----
Flexlink              1        enabled
adapter-fex          1        disabled
bgp                   1        disabled
dhcp                  1        disabled
eigrp                 1        disabled
eigrp                 2        disabled
eigrp                 3        disabled
switch#
```

```

eigrp          4          disabled
fcoe           1          disabled
fcoe-npv       1          disabled
fex            1          enabled
hsrp_engine    1          disabled
interface-vlan 1          disabled
lacp           1          enabled
ldap           1          disabled
lldp           1          enabled
msdp           1          disabled
ospf           1          disabled
ospf           2          disabled
ospf           3          disabled
ospf           4          disabled
pim            1          disabled
poe            1          disabled
private-vlan   1          disabled
privilege      1          disabled
rip            1          disabled
rip            2          disabled
rip            3          disabled
rip            4          disabled
sshServer      1          enabled
tacacs         1          disabled
telnetServer   1          enabled
udld           1          disabled
vem            1          disabled
vpc            1          disabled
vrrp           1          disabled
vtp            1          disabled
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
feature	スイッチの機能をイネーブルまたはディセーブルにします。

show module

モジュール情報を表示するには、**show module** コマンドを使用します。

show module *module_num*

構文の説明

module_num スイッチ シャーシのモジュール番号。有効な範囲は 1 ~ 3 です。

コマンド デフォルト

すべてのモジュールの情報を表示します。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、特定のモジュールのモジュール情報を表示する例を示します。

```
switch# show module 1
Mod Ports  Module-Type                               Model                               Status
-----
1    40      40x10GE/Supervisor                             N5K-C5020P-BF-SUP                 active *

Mod Sw                Hw      World-Wide-Name(s) (WWN)
---
1    4.2(1u)N1(1u)      1.3     --

Mod  MAC-Address(es)                               Serial-Num
---
1    0005.9b78.6e48 to 0005.9b78.6e6f             JAF1413ADCS
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware inventory	物理ハードウェアに関する情報を表示します。
show inventory	ハードウェア インベントリ情報を表示します。

show port-channel capacity

設定されているポート チャンネルの数や、デバイスで未使用のポート チャンネルの数を表示するには、**show port-channel capacity** コマンドを使用します。

show port-channel capacity

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

例

次に、デバイスでポート チャンネルを表示する例を示します。

```
switch# show port-channel capacity
Port-channel resources
    768 total    120 used    648 free    15% used
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC に関する要約情報を表示します。

show port-profile

スイッチに設定されたポート プロファイルを表示するには **show port-profile** コマンドを使用します。

show port-profile

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

スイッチに設定されたポート プロファイルおよびポート プロファイルを継承したインターフェイスの設定情報を表示するには、このコマンドを使用します。

例

次に、スイッチに設定されたポート プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show port-profile

port-profile p1
  type: Ethernet
  description:
  status: enabled
  max-ports: 512
  inherit:
  config attributes:
    ip port access-group denyv4 in
  evaluated config attributes:
    ip port access-group denyv4 in
  assigned interfaces:

port-profile ppEth
  type: Ethernet
  description: Port profile to configure batch commands for Ethernet interfaces
  status: enabled
  max-ports: 512
  inherit:
    pp
  config attributes:
  evaluated config attributes:
    switchport mode trunk
    switchport trunk allowed vlan 300-800
    flowcontrol receive on
  assigned interfaces:
    Ethernet198/1/11
```

```
switch#
```

表 14-1 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-1 show port-profile フィールドの説明

フィールド	説明
type	ポート プロファイルが表すインターフェイス タイプ。値にはイーサネット、インターフェイス VLAN、またはポート チャネルを指定できます。
description	ポート プロファイルの目的のサマリー。
status	ポート プロファイルのイネーブルまたはディセーブルの状態。
max-ports	このプロファイルを継承できるポートの最大数。デフォルトは 512 です。
inherit	このポート プロファイルが継承したポート プロファイルの名前。このフィールドは、ポート プロファイルが別のポート プロファイルを継承しなければ空白です。
config attributes	ポート プロファイルのコンフィギュレーション コマンド。
evaluated config attributes	このポート プロファイルの確認されたコンフィギュレーション コマンドおよび別のポート プロファイルから継承されたコマンド。
assigned interfaces	このポート プロファイルを継承するインターフェイス。

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
inherit	インターフェイスにポート プロファイルをアタッチします。
show port-profile name	特定のポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

show port-profile brief

スイッチに設定されたポート プロファイルに関する要約情報を表示するには、**show port-profile brief** コマンドを使用します。

show port-profile brief

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ポート プロファイルを継承したインターフェイスの数、子ポート プロファイルの数、およびポート プロファイルに設定または継承されたコマンドの数を表示するには、このコマンドを使用します。

例

次に、スイッチに設定されたポート プロファイルに関する要約情報を表示する例を示します。

```
switch# show port-profile brief
-----
Port Profile          Profile State  Conf Items  Eval Items  Assigned Intfs  Child Profs
-----
ppEth                 1             3           3           1           1
p1                    1             1           1           0           0
switch#
```

表 14-2 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-2 show port-profile brief フィールドの説明

フィールド	説明
Port Profile	ポート プロファイルの名前。
Profile State	ポート プロファイルのステート。値 1 はプロファイルがイネーブルであることを表し、0 はディセーブルであることを表します。
Conf Items	ポート プロファイルで設定されたコマンドの数。
Eval Items	ポート プロファイルに設定されたか、別のポート プロファイルから継承されたコマンドの数。

表 14-2 show port-profile brief フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Assigned Intfs	ポート プロファイルに割り当てられるインターフェイス。
Child Profs	このポート プロファイルによって継承されるポート プロファイルの数。

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show port-profile	設定済みのすべてのポート プロファイルに関する情報を表示します。
show port-profile name	特定のポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

show port-profile expand-interface

インターフェイスに適用されたアクティブ ポート プロファイル設定を表示するには、**show port-profile expand-interface** コマンドを使用します。

show port-profile expand-interface [*pp-profile-name*]

構文の説明

<i>pp-profile-name</i>	(任意) ポートプロファイルの名前。名前は最大 80 文字の英数字で、アンダースコア、ハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
------------------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、インターフェイスに適用されているポートプロファイル設定を表示するために使用します。

例

次に、割り当てられたインターフェイスに適用されるポートプロファイルの設定を表示する例を示します。

```
switch# show port-profile expand-interface
```

```
port-profile ppEth
 Ethernet198/1/11
   switchport mode trunk
   switchport trunk allowed vlan 300-800
   flowcontrol receive on
```

```
port-profile p1
```

```
port-profile pp
```

```
switch#
```

次に、インターフェイスに割り当てられている特定のポートプロファイルの設定を表示する例を示します。

```
switch# show port-profile expand-interface name ppEth
```

```
port-profile ppEth
 Ethernet198/1/11
   switchport mode trunk
   switchport trunk allowed vlan 300-800
   flowcontrol receive on
```

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show port-profile	設定済みのすべてのポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

show port-profile name

特定のポート プロファイルの設定情報を表示するには、**show port-profile name** コマンドを使用します。

show port-profile name *pp-profile-name*

構文の説明

<i>pp-profile-name</i>	ポート プロファイルの名前。名前は最大 80 文字の英数字で、アンダースコア、ハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
------------------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ppEth というポート プロファイルの設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show port-profile name ppEth

port-profile ppEth
  type: Ethernet
  description: Port profile to configure batch commands for Ethernet interfaces
  status: enabled
  max-ports: 512
  inherit:
    pp
  config attributes:
  evaluated config attributes:
    switchport mode trunk
    switchport trunk allowed vlan 300-800
    flowcontrol receive on
  assigned interfaces:
    Ethernet198/1/11

switch#
```

表 14-3 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-3 show port-profile フィールドの説明

フィールド	説明
type	ポート プロファイルが表すインターフェイス タイプ。値にはイーサネット、インターフェイス VLAN、またはポート チャネルを指定できます。
description	ポート プロファイルの目的のサマリー。

表 14-3 show port-profile フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
status	ポート プロファイルのイネーブルまたはディセーブルの状態。
max-ports	このプロファイルを継承できるポートの最大数。デフォルトは 512 です。
inherit	このポート プロファイルが継承したポート プロファイルの名前。このフィールドは、ポート プロファイルが別のポート プロファイルを継承しなければ空白です。
config attributes	ポート プロファイルのコンフィギュレーション コマンド。
evaluated config attributes	このポート プロファイルの確認されたコンフィギュレーション コマンドおよび別のポート プロファイルから継承されたコマンド。
assigned interfaces	このポート プロファイルを継承するインターフェイス。

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
inherit	インターフェイスにポート プロファイルをアタッチします。
show port-profile	すべてのポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

show port-profile usage

ポート プロファイルを継承したインターフェイスのリストを表示するには、**show port-profile usage** コマンドを使用します。

show port-profile usage [*pp-profile-name*]

構文の説明

<i>pp-profile-name</i>	(任意) ポート プロファイルの名前。名前は最大 80 文字の英数字で、アンダースコア、ハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
------------------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチに設定されたポート プロファイルに割り当てられたインターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show port-profile usage
```

```
port-profile eth
 Ethernet198/1/11
```

```
port-profile p1
```

```
port-profile pp
```

```
switch#
```

次に、ppEth というポート プロファイルにアタッチされているインターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show port-profile usage name ppEth
```

```
port-profile ppEth
 Ethernet198/1/11
```

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show port-profile	設定済みのすべてのポート プロファイルに関する情報を表示します。

コマンド	説明
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。
show startup-config port-profile	ポート プロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

show running-config expand-port-profile

ポート プロファイルの詳細な実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config expand expand-port-profile** コマンドを使用します。

show running-config expand-port-profile

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、拡張ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config expand-port-profile

!Command: show running-config expand-port-profile
!Time: Wed Sep  8 09:19:41 2010

version 5.0(2)N1(1)
feature fcoe

feature telnet
feature tacacs+
cfs ipv4 distribute
cfs eth distribute
feature uddl
feature interface-vlan
feature lacp
feature dhcp
feature vpc
feature lldp
feature vtp
feature fex

username admin password 5 $1$wmFN7Wly$/pjqx1DfAkCCAg/KyxbUz/  role network-admin
username install password 5 !  role network-admin
username praveena password 5 !  role network-operator
no password strength-check
ip domain-lookup
ip domain-lookup
tacacs-server host 192.0.131.54 key 7 "wawy1234"
tacacs-server host 192.0.131.37
tacacs-server host 192.0.131.37 test username user1
:
<--Snip-->
:
```



```

vpc domain 1000
  role priority 65534
  system-mac 00:23:04:ee:c1:e8
  peer-keepalive destination 192.0.10.2 source 192.0.10.3 vrf default
port-profile type interface-vlan ppVlan
  bandwidth 30000000
  mtu 3000
  description Sample port-profile for VLAN interfaces
port-profile type ethernet eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-800
  flowcontrol receive on
  state enabled
port-profile type port-channel ppPO
  delay 5000000
  load-interval counter 1 30
  switchport mode trunk
  description Sample port profile for Port Channel interface
  state enabled
port-profile type ethernet ppEth
  inherit port-profile eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-400
  speed 10000
  bandwidth 1000000
  description Sample port profile for Ethernet interfaces
  state enabled

interface Vlan1
:
<--snip-->
:
mac address-table notification threshold limit 99 interval 60
interface fc2/1
interface fc2/2
interface fc2/3
interface fc2/4
logging server 192.0.20.101
logging server 192.0.20.102
logging timestamp milliseconds
no logging console

switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
port-profile	ポートプロファイルを設定します。
show port-profile	ポートプロファイル情報を表示します。
show running-config port-profile	実行コンフィギュレーションとポートプロファイル設定を表示します。

show running-config interface

特定のポート チャネルの実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config interface** コマンドを使用します。

```
show running-config interface [all | {ethernet {slot/port} [all]} | expand-port-profile |
{loopback {number} [all]} | {mgmt 0 [all]} | {port-channel {channel-number}
[membership]} | {tunnel {number} [all]} | {vlan {vlan-id} [all]}
```

構文の説明

all	(任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。
ethernet <i>slot/port</i>	イーサネット インターフェイス スロット番号とポート番号を表示します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
expand-port-profile	ポート プロファイルを表示します。
loopback <i>number</i>	ループバック インターフェイスの数を表示します。値の範囲は 1 ~ 4096 です。
mgmt 0	管理 インターフェイスのコンフィギュレーション情報を表示します。
port-channel <i>channel-number</i>	ポート チャネル グループの数を表示します。値の範囲は 0 ~ 1023 です。
membership	指定したポート チャネルのメンバーシップを表示します。
tunnel <i>number</i>	トンネル インターフェイスの数を表示します。値の範囲は 0 ~ 65535 です。
vlan <i>vlan-id</i>	VLAN の数を表示します。値の範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ポート チャネル 10 の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch(config)# show running-config interface port-channel 10
version 4.0(1)

interface port-channel10
  switchport
  switchport mode trunk

switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show startup-config</code>	デバイスの実行コンフィギュレーションを表示します。

show running-config port-profile

ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config port-profile** コマンドを使用します。

show running-config port-profile [*pp-profile-name*]

構文の説明

<i>pp-profile-name</i>	ポート プロファイルの名前。名前は最大 80 文字の英数字で、アンダースコア、ハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
------------------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチに設定されたすべてのポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config port-profile

!Command: show running-config port-profile
!Time: Mon Sep  6 07:31:24 2010

version 5.0(2)N1(1)
port-profile type interface-vlan ppVlan
  bandwidth 30000000
  mtu 3000
  description Sample port-profile for VLAN interfaces
port-profile type ethernet eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-800
  flowcontrol receive on
  state enabled
port-profile type port-channel ppPO
  delay 5000000
  load-interval counter 1 30
  switchport mode trunk
  description Sample port profile for Port Channel interface
  state enabled
port-profile type ethernet ppEth
  inherit port-profile eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-400
  speed 10000
  bandwidth 1000000
  description Sample port profile for Ethernet interfaces
  state enabled
```

```
switch#
```

次に、スイッチに設定された **ppEth** という名前のポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config port-profile ppEth

!Command: show running-config port-profile ppEth
!Time: Mon Sep  6 07:32:10 2010

version 5.0(2)N1(1)
port-profile type ethernet ppEth
  inherit port-profile eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-400
  speed 10000
  bandwidth 1000000
  description Sample port profile for Ethernet interfaces
  state enabled

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
port-profile	ポート プロファイルを設定します。
show port-profile	ポート プロファイルの設定情報を表示します。
show startup-config	スイッチ プロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションの情報を表示します。
switch-profile	

show running-config switch-profile

スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config switch-profile** コマンドを使用します。

show running-config switch-profile

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ピアのスイッチ 1 で設定された s5010 というスイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config switch-profile
switch-profile s5010
  sync-peers destination 192.0.120.3
  interface Ethernet1/1
    switchport mode trunk
    speed 1000

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。
show startup-config switch-profile	スイッチ プロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションの情報を表示します。

show running-config vpc

仮想ポート チャンネル (vPC) の実行コンフィギュレーション情報を表示するには、**show running-config vpc** コマンドを使用します。

show running-config vpc [all]

構文の説明

all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Cisco NX-OS Release 4.1(2) を実行するスイッチの vPC の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch (config)# show running-config vpc
version 4.1(2)
feature vpc
vpc domain 2
  role priority 1
  system-priority 32667
  peer-keepalive destination 192.0.76.52 source 192.0.76.51 udp-port 3200 vrf ma
  engagement interval 1000 timeout 5
```

```
interface port-channel10
  vpc 20
```

```
interface port-channel101
  vpc 101
```

```
interface port-channel200
  vpc peer-link
```

```
interface port-channel201
  vpc 201
```

次に、Cisco NX-OS Release 4.2(1) を実行するスイッチの vPC の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config vpc

!Command: show running-config vpc
!Time: Wed Mar 31 06:11:52 2010

version 4.2(1)N1(1)
```

■ show running-config vpc

```

feature vpc

vpc domain 1000
  role priority 2000
  peer-keepalive destination 192.0.183.52 source 192.0.76.51 vrf management
  peer-config-check-bypass

interface port-channel1
  vpc peer-link

interface port-channel3
  vpc 4096

interface port-channel5
  vpc 4001

interface port-channel12
  vpc 4000

interface port-channel24
  vpc 2000

interface port-channel41
  vpc 41

interface port-channel48
  vpc 48

--More--
switch#

```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) を実行するスイッチの vPC のリロードの設定を表示する例を示します。

```

switch# show running-config vpc

!Command: show running-config vpc
!Time: Wed Oct 27 21:24:24 2010

version 5.0(2)N1(1)
feature vpc

vpc domain 10
  peer-keepalive destination 192.0.1.48
  reload restore

--More--
<--output truncated>
switch#

```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) を実行するスイッチの vPC の自動回復の設定を表示する例を示します。

```

switch# show running-config vpc

!Command: show running-config vpc
!Time: Fri Dec 10 04:13:57 2010

version 5.0(2)N2(1)
feature vpc

```



```
vpc domain 100
  peer-keepalive destination 192.0.51.138
  auto-recovery reload-delay 300

interface port-channel1
  vpc 1

interface port-channel100
  vpc peer-link

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていないと、このコマンドからはエラーが返されます。

show startup-config interface

スタートアップ コンフィギュレーションのインターフェイス設定情報を表示するには、**show startup-config interface** コマンドを使用します。

```
show startup-config interface [ethernet slot/port | expand-port-profile | loopback
number | mgmt 0 | port-channel {channel-number} [membership] | tunnel number |
{vlan vlan-id}]
```

構文の説明

ethernet slot/port	(任意) モジュールの数とポート番号を表示します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
expand-port-profile	ポート プロファイルを表示します。
loopback number	ループバック インターフェイスの数を表示します。値の範囲は 1 ~ 4096 です。
mgmt 0	管理インターフェイスのコンフィギュレーション情報を表示します。
port-channel channel-number	ポート チャネル グループの数を表示します。値の範囲は 0 ~ 1023 です。
membership	(任意) 指定したポート チャネルのメンバーシップを表示します。
tunnel number	トンネル インターフェイスの数を表示します。値の範囲は 0 ~ 65535 です。
vlan vlan-id	VLAN の数を表示します。値の範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、インターフェイス イーサネット 7/1 のスタートアップ コンフィギュレーションの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show startup-config interface ethernet 7/1
version 4.1(2)

interface Ethernet7/1
 ip pim sparse-mode
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interface	指定されたインターフェイスに関する情報を表示します。

show startup-config port-profile

ポートプロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config port-profile** コマンドを使用します。

show startup-config switch-profile [*pp-profile-name*]

構文の説明	<i>pp-profile-name</i>	(任意) ポート プロファイルの名前。名前は最大 80 文字の英数字で、アンダースコア、ハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
-------	------------------------	--

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存されているすべてのポート プロファイルの設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config switch-profile

!Command: show startup-config port-profile
!Time: Mon Sep  6 07:32:48 2010
!Startup config saved at: Mon Sep  6 07:29:19 2010

version 5.0(2)N1(1)
port-profile type interface-vlan ppVlan
  bandwidth 30000000
  mtu 3000
  description Sample port-profile for VLAN interfaces
port-profile type ethernet eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-800
  flowcontrol receive on
  state enabled
port-profile type port-channel ppPO
  delay 5000000
  load-interval counter 1 30
  switchport mode trunk
  description Sample port profile for Port Channel interface
  state enabled
port-profile type ethernet ppEth
  inherit port-profile eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-400
  speed 10000
  bandwidth 1000000
  description Sample port profile for Ethernet interfaces
```

■ show startup-config port-profile

```
state enabled
```

```
switch#
```

次に、スイッチのポート チャネル インターフェイス用に設定された **ppPO** というポート プロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show startup-config port-profile ppPO
```

```
!Command: show startup-config port-profile ppPO
!Time: Mon Sep  6 07:34:31 2010
!Startup config saved at: Mon Sep  6 07:29:19 2010

version 5.0(2)N1(1)
port-profile type port-channel ppPO
  delay 5000000
  load-interval counter 1 30
  switchport mode trunk
  description Sample port profile for Port Channel interface
  state enabled
```

```
switch#
```

次に、スイッチのイーサネット インターフェイス用に設定された **ppEth** というポート プロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show startup-config port-profile ppEth
```

```
!Command: show startup-config port-profile ppEth
!Time: Mon Sep  6 07:35:44 2010
!Startup config saved at: Mon Sep  6 07:29:19 2010

version 5.0(2)N1(1)
port-profile type ethernet ppEth
  inherit port-profile eth
  switchport mode trunk
  switchport trunk allowed vlan 300-400
  speed 10000
  bandwidth 1000000
  description Sample port profile for Ethernet interfaces
  state enabled
```

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show running-config switch-profile	スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show startup-config switch-profile

スイッチ プロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config switch-profile** コマンドを使用します。

show startup-config switch-profile

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ピアのスイッチ 1 で設定された s5010 というスイッチ プロファイルのスタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config switch-profile
switch-profile s5010
  sync-peers destination 192.0.120.3

  interface Ethernet101/1/35
    switchport mode trunk
    switchport trunk native vlan 300
    switchport trunk allowed vlan 300-800
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。
show running-config switch-profile	スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show startup-config vpc

スタートアップ コンフィギュレーションの仮想ポート チャンネル (vPC) の設定情報を表示するには、**show startup-config vpc** コマンドを使用します。

show startup-config vpc [all]

構文の説明

all	(任意) すべての vPC のスタートアップ コンフィギュレーション情報を表示します。
------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの vPC 情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show startup-config vpc
version 4.1(2)
feature vpc
vpc domain 1
```

```
interface port-channel10
 vpc peer-link
```

```
interface port-channel20
 vpc 100
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。

show switch-profile

スイッチに設定されたスイッチ プロファイルを表示するには、**show switch-profile** コマンドを使用します。

show switch-profile

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ピアのスイッチ 1 で設定されたスイッチ プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show switch-profile
-----
Profile-name                               Config-revision
-----
s5010                                       1
switch#
```

表 14-4 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-4 show switch-profile フィールドの説明

フィールド	説明
Profile-name	スイッチ プロファイルの名前。
Config-revision	スイッチ プロファイル設定のリビジョン。リビジョン番号はピア スwitch の設定を同期するために使用されます。詳細については、 commit コマンドを参照してください。

関連コマンド

コマンド	説明
commit	スイッチ プロファイル設定をコミットします。
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。
show switch-profile status	スイッチ プロファイルのステータスを表示します。

show switch-profile buffer

スイッチ プロファイル バッファを表示するには、**show switch-profile buffer** コマンドを使用します。

show switch-profile *sw-profile-name* buffer

構文の説明

<i>sw-profile-name</i>	スイッチ プロファイルの名前。名前は大文字と小文字が区別され、最大 64 文字の英数字で、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
------------------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、s5010 というスイッチ プロファイルのバッファを表示する例を示します。

```
switch# show switch-profile s5010 buffer
```

```
-----
Seq-no  Command
-----
1       interface ethernet 1/1
1.1     switchport mode trunk
1.2     speed 1000
2       interface port-channel 102
2.1     vpc 1
2.2     switchport mode trunk
```

```
switch#
```

表 14-5 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-5 show switch-profile buffer フィールドの説明

フィールド	説明
Seq-no	スイッチ プロファイル バッファのコマンドのエントリのシーケンス番号または順序。
Command	スイッチ プロファイルの設定に使用されるコマンド。

関連コマンド

コマンド	説明
command (スイッチ プロファイル)	スイッチ プロファイルにコマンドを追加します。
import	スイッチ プロファイルにコマンドをインポートします。

コマンド	説明
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。
show switch-profile status	スイッチ プロファイルのステータスを表示します。

show switch-profile peer

スイッチ プロファイルの設定の宛先ピア スイッチに関する情報を表示するには、**show switch-profile peer** コマンドを使用します。

show switch-profile *sw-profile-name* peer *ip-address*

構文の説明

<i>sw-profile-name</i>	スイッチ プロファイルの名前。名前は大文字と小文字が区別され、最大 64 文字の英数字で、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
<i>ip-address</i>	A.B.C.D. 形式の宛先ピア スイッチの IPv4 アドレス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルに追加する IPv4 アドレス 192.168.120.3 の宛先ピアのスイッチに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show switch-profile s5010 peer 192.168.120.3
Peer-sync-status      : Not yet merged. pending-merge:1 received_merge:0
Peer-status           : Peer not reachable
Peer-error(s)         :
switch#
```

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルの IPv4 アドレス 192.168.120.3 の宛先ピアのスイッチに関する正常なコミット情報を表示する例を示します。

```
switch1# show switch-profile sp peer 192.168.120.3
Peer-sync-status      : In Sync.
Peer-status           : Commit Success
Peer-error(s)         :
switch1#
```

表 14-6 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-6 show switch-profile peer フィールドの説明

フィールド	説明
Peer-sync-status	次のようなピア スイッチの同期設定のステータス。 <ul style="list-style-type: none"> • In Sync : 両方のスイッチの設定は同期されています。 • Not yet merged.pending-merge:1 received_merge:0 : ローカル スイッチの設定はピア スイッチとまだマージされていません。
Peer-status	到達可能か到達不能か、正常に確認またはコミットされたかどうかに関する、設定同期中のピア スイッチのステータス。
Peer-error(s)	ピア スイッチへの接続の失敗理由。

関連コマンド

コマンド	説明
show switch-profile status	スイッチ プロファイルのステータスを表示します。
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。
sync-peers destination	設定同期用にピア スイッチを設定します。

show switch-profile session-history

スイッチ プロファイルの設定のセッション履歴を表示するには、**show switch-profile session-history** コマンドを使用します。

show switch-profile *sw-profile-name* session-history

構文の説明

<i>sw-profile-name</i>	スイッチ プロファイルの名前。名前は大文字と小文字が区別され、最大 64 文字の英数字で、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
------------------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルのセッション履歴を表示する例を示します。

```
switch# show switch-profile s5010 session-history

Start-time: 959269 usecs after Fri Aug 13 06:16:29 2010
End-time: 961304 usecs after Fri Aug 13 06:16:29 2010

Profile-Revision: 1
Session-type: Initial-Exchange
Peer-triggered: No
Profile-status: -

Local information:
-----
Status: -
Error(s):

Peer information:
-----
IP-address: 192.168.120.3
Pending-merge: 1
Received-merge: 0
Sync-status: Not yet merged. pending-merge:1 received-merge:0
Status: Peer not reachable
Error(s):

Start-time: 794606 usecs after Fri Aug 13 06:16:40 2010
End-time: 796861 usecs after Fri Aug 13 06:16:40 2010

Profile-Revision: 1
Session-type: Peer-delete
```

```

Peer-triggered: No
Profile-status: Sync Success

Local information:
-----
Status: Verify Success
Error(s):

switch#

```

表 14-7 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-7 show switch-profile session-history フィールドの説明

フィールド	説明
Start-time	<i>nn</i> usecs after 曜日 月 日 時:分:秒 年形式のコンフィギュレーションセッションの開始時間。usecs はマイクロ秒です。 例 : 265561 usecs after Fri Aug 13 06:21:30 2010
End-time	<i>nn</i> usecs after 曜日 月 日 時:分:秒 年形式のコンフィギュレーションセッションの終了時間。usecs はマイクロ秒です。
Profile-Revision	スイッチ プロファイルの設定が変更されている回数。
Session-type	スイッチ プロファイルの設定で実行された処理。たとえば、Initial-Exchange、Commit、Peer-Delete。
Peer-triggered	ピアの到達可能な通知の受信ステータス。
Profile-status	設定の同期のステータス。
Local information	ローカル スイッチ プロファイルに関する情報。
Status	ローカル スイッチの設定の同期処理のステータス。
Error(s)	ローカル スイッチ設定の同期中に表示されるエラーの理由。
Peer information	ピア スイッチ プロファイルに関する情報。
IP-address	宛先ピア スイッチの IPv4 アドレス。
Pending-merge	ピア スイッチの設定とマージされるローカル スイッチの最新のコンフィギュレーション リビジョン番号。
Received-merge	ピア スイッチと同期するためにローカル スイッチから受信したコンフィギュレーション リビジョン。
Sync-status	次のようなピア スイッチの同期設定のステータス。 <ul style="list-style-type: none"> • In Sync : ピア スイッチの設定はローカル スイッチ設定と同期されています。 • Not yet merged,pending-merge:1 received_merge:0 : ローカル スイッチの設定はピア スイッチとまだマージされていません。
Status	ピア スイッチのステータス。接続、コマンド実行ステータスなど。
Error(s)	ピア スイッチの設定の同期中に表示されるエラーの理由。

■ show switch-profile session-history

関連コマンド

コマンド	説明
show switch-profile	スイッチ プロファイルおよびコンフィギュレーション リビジョンを表示します。
show switch-profile status	スイッチ プロファイルのステータスを表示します。
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。

show switch-profile status

スイッチ プロファイルの設定ステータスを表示するには、**show switch-profile** コマンドを使用します。

show switch-profile *sw-profile-name* status

構文の説明	<i>sw-profile-name</i>	スイッチ プロファイルの名前。名前は大文字と小文字が区別され、最大 64 文字の英数字で、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
-------	------------------------	---

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show switch-profile s5010 status

Start-time: 794606 usecs after Fri Aug 13 06:16:40 2010
End-time: 796861 usecs after Fri Aug 13 06:16:40 2010

Profile-Revision: 3
Session-type: Commit
Peer-triggered: Yes
Profile-status: Sync Success

Local information:
-----
Status: Commit Success
Error(s):

Peer information:
-----
IP-address: 192.168.120.3
Sync-status: In Sync.
Status: Commit Success
Error(s):

switch#
```

表 14-8 に、この出力で表示されるフィールドの説明を示します。

表 14-8 show switch-profile status フィールドの説明

フィールド	説明
Start-time	<i>nn</i> usecs after 曜日 月 日 時:分:秒 年形式のコンフィギュレーションセッションの開始時間。usecs はマイクロ秒です。 例 : 265561 usecs after Fri Aug 13 06:21:30 2010
End-time	<i>nn</i> usecs after 曜日 月 日 時:分:秒 年形式のコンフィギュレーションセッションの終了時間。usecs はマイクロ秒です。
Profile-Revision	スイッチ プロファイルの設定が変更されている回数。
Session-type	スイッチ プロファイルの設定で実行された処理。たとえば、Commit、Peer-Delete。
Peer-triggered	ピアの到達可能な通知の受信ステータス。
Profile-status	設定の同期のステータス。
Local information	ローカル スイッチ プロファイルに関する情報。
Status	ローカル スイッチの設定の同期処理のステータス。
Error(s)	ローカル スイッチ設定の同期中に表示されるエラーの理由。
Peer information	ピア スイッチ プロファイルに関する情報。
IP-address	宛先ピア スイッチの IPv4 アドレス。
Sync-status	ピア スイッチの同期設定のステータス。 <ul style="list-style-type: none"> • In Sync : ピア スイッチの設定はローカル スイッチ設定と同期されています。 • Not yet merged.pending-merge:1 received_merge:0 : ローカル スイッチの設定はピア スイッチとまだマージされていません。
Status	ピア スイッチの設定の同期処理のステータス。
Error(s)	ピア スイッチの設定の同期中に表示されるエラーの理由。

関連コマンド

コマンド	説明
show switch-profile	スイッチ プロファイルおよびコンフィギュレーション リビジョンを表示します。
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。

show tech-support vpc

仮想ポート チャンネル (vPC) に関するトラブルシューティング情報を表示するには、**show tech-support vpc** コマンドを使用します。

show tech-support vpc

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、vPC トラブルシューティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support vpc
`show version`
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.

Software
  BIOS:          version 1.3.0
  loader:        version N/A
  kickstart:     version 4.2(1)N1(1) [build 4.2(1)N1(0.329)]
  system:        version 4.2(1)N1(1) [build 4.2(1)N1(0.329)]
  power-seq:    version v1.2
  BIOS compile time:      09/08/09
  kickstart image file is: bootflash:/n5000-uk9-kickstart.4.2.1.N1.latest.bin
  kickstart compile time: 4/18/2010 8:00:00 [04/18/2010 15:03:44]
  system image file is:   bootflash:/n5000-uk9.4.2.1.N1.latest.bin
  system compile time:    4/18/2010 8:00:00 [04/18/2010 16:08:18]

Hardware
  cisco Nexus5020 Chassis ("40x10GE/Supervisor")
  Intel(R) Celeron(R) M CPU with 2074284 kB of memory.
  Processor Board ID JAF1413ADCS

  Device name: dl14-switch-2
  bootflash: 1003520 kB

Kernel uptime is 0 day(s), 2 hour(s), 25 minute(s), 26 second(s)
```

show tech-support vpc

Last reset at 414529 usecs after Mon Apr 19 05:59:19 2010

Reason: Disruptive upgrade
System version: 4.2(1u)N1(1u)
Service:

plugin

Core Plugin, Ethernet Plugin, Fc Plugin

`show module`

Mod	Ports	Module-Type	Model	Status
1	40	40x10GE/Supervisor	N5K-C5020P-BF-SUP	active *
2	8	8x1/2/4G FC Module	N5K-M1008	ok
3	6	6x10GE Ethernet Module	N5K-M1600	ok

Mod	Sw	Hw	World-Wide-Name(s) (WWN)
1	4.2(1)N1(1)	1.3	--
2	4.2(1)N1(1)	0.200	20:41:00:05:9b:78:6e:40 to 20:48:00:05:9b:78:6e:40
3	4.2(1)N1(1)	0.100	--

Mod	MAC-Address(es)	Serial-Num
1	0005.9b78.6e48 to 0005.9b78.6e6f	JAF1413ADCS
2	0005.9b78.6e70 to 0005.9b78.6e77	JAB1228016M
3	0005.9b78.6e78 to 0005.9b78.6e7f	JAB12310214

`show vpc brief`

Legend:

(*) - local vPC is down, forwarding via vPC peer-link

vPC domain id : 1000
Peer status : peer adjacency formed ok
vPC keep-alive status : peer is alive
Configuration consistency status: success
vPC role : secondary
Number of vPCs configured : 150
Peer Gateway : Disabled
Dual-active excluded VLANs : -

vPC Peer-link status

id	Port	Status	Active vlans
1	Po1	up	1-330,335,338-447,1000-1023,2000-2018

vPC status

id	Port	Status	Consistency	Reason	Active vlans
41	Po41	down*	failed	Consistency Check Not Performed	-
48	Po48	down*	failed	Consistency Check Not Performed	-
2000	Po24	down	success	success	-
4000	Po12	down	success	success	-
4001	Po5	down	success	success	-
4096	Po3	down	success	success	-
101376	Eth100/1/1	down*	failed	Consistency Check Not Performed	-
101377	Eth100/1/2	down*	failed	Consistency Check Not Performed	-
101378	Eth100/1/3	down*	failed	Consistency Check Not Performed	-

```
101379 Eth100/1/4 down* failed Consistency Check Not -  
Performed  
101380 Eth100/1/5 down* failed Consistency Check Not -  
--More--  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。

show version

ソフトウェアとハードウェア バージョンに関する情報を表示するには、**show version** コマンドを使用します。

show version

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

すべてのバージョン情報

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) を実行するスイッチのバージョン情報を表示する例を示します。

```
switch# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.

Software
  BIOS:          version 1.3.0 [last: ]
  loader:        version N/A
  kickstart:     version 4.2(1u)N1(1u) [build 4.2(1)N1(0.328)]
  system:        version 4.2(1u)N1(1u) [build 4.2(1)N1(0.328)]
  power-seq:     version v1.2
  BIOS compile time:      09/08/09 [last: ]
  kickstart image file is: bootflash://n5000-uk9-kickstart.4.2.1.N1.latest.bin.

upg
  kickstart compile time: 12/25/2020 12:00:00 [04/17/2010 15:06:29]
  system image file is:   bootflash://n5000-uk9.4.2.1.N1.latest.bin.upg
  system compile time:    12/25/2020 12:00:00 [04/17/2010 16:11:29]

Hardware
  cisco Nexus5020 Chassis ("40x10GE/Supervisor")
  Intel(R) Celeron(R) M CPU with 2074284 kB of memory.
  Processor Board ID JAF1413ADCS

  Device name: d14-switch-2
  bootflash: 1003520 kB
```

```
Kernel uptime is 0 day(s), 1 hour(s), 2 minute(s), 41 second(s)

Last reset at 167864 usecs after Mon Apr 19 04:22:45 2010

Reason: Reset due to upgrade
System version: 4.2(1)N1(1)
Service:

plugin
Core Plugin, Ethernet Plugin, Fc Plugin
switch#
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) を実行するデバイスで実行中のキックスタート イメージおよびシステム イメージのバージョン情報を表示する例を示します。

```
switch# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.

Software
  BIOS:          version 1.3.0
  loader:        version N/A
  kickstart:     version 5.0(2)N2(1) [build 5.0(2)N2(1)]
  system:        version 5.0(2)N2(1) [build 5.0(2)N2(1)]
  power-seq:     version v1.2
  BIOS compile time:      09/08/09
  kickstart image file is: bootflash:/sanity-kickstart
  kickstart compile time: 12/6/2010 7:00:00 [12/06/2010 07:35:14]
  system image file is:   bootflash:/sanity-system
  system compile time:    12/6/2010 7:00:00 [12/06/2010 08:56:45]

Hardware
  cisco Nexus5010 Chassis ("20x10GE/Supervisor")
  Intel(R) Celeron(R) M CPU with 2073416 kB of memory.
  Processor Board ID JAF1228BTAS

  Device name: BEND-2
  bootflash: 1003520 kB

Kernel uptime is 0 day(s), 3 hour(s), 30 minute(s), 45 second(s)

Last reset
Reason: Unknown
System version:
Service:

plugin
Core Plugin, Ethernet Plugin, Fc Plugin
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。

show vpc

スイッチに設定されている仮想ポート チャンネル (vPC) の詳細な情報を表示するには、**show vpc** コマンドを使用します。

show vpc [*vpc-number*]

構文の説明	<i>vpc-number</i> (任意) vPC 番号。範囲は 1 ~ 4096 です。				
コマンドデフォルト	なし				
コマンドモード	EXEC モード				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.1(3)N1(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。				

例 次に、vPC 情報を表示する例を示します。

```
switch# show vpc
Legend:
      (*) - local vPC is down, forwarding via vPC peer-link

vPC domain id          : 10
Peer status            : peer adjacency formed ok
vPC keep-alive status  : peer is alive
Configuration consistency status: success
Type-2 consistency reason : Consistency Check Not Performed
vPC role               : secondary
Number of vPCs configured : 1
Peer Gateway           : Disabled
Dual-active excluded VLANs : -

vPC Peer-link status
-----
id  Port  Status Active vlans
--  ---  -----
1   Po4000 up    1,3001-3500

vPC status
-----
id  Port  Status Consistency Reason          Active vlans
--  ---  -----
10  Po10  up    success    success          3001-3200

switch#
```

次に、特定の vPC 情報を表示する例を示します。

```
switch# show vpc 10
```

■ show vpc

```
vPC status
-----
id      Port      Status Consistency Reason      Active vlans
-----
10      Po10      up      success    success      3001-3200

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC 情報の要約を表示します。
vpc	スイッチに vPC 機能を設定します。

show vpc brief

仮想ポート チャンネル (vPC) に関する要約情報を表示するには、**show vpc brief** コマンドを使用します。

show vpc brief [*vpc number*]

構文の説明	vpc number	(任意) 指定した vPC の要約情報を表示します。範囲は 1 ~ 4096 です。
--------------	-------------------	--

コマンドデフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **show vpc brief** コマンドは、vPC ドメイン ID、ピアリンク ステータス、キープアライブ メッセージ ステータス、設定が一致しているかどうか、ピア リンクが形成されたかまたは形成に失敗したかどうかを表示します。

vPC 機能がイネーブルになっていないと、このコマンドは使用できません。vPC をイネーブルにするための情報は、**feature vpc** コマンドを参照してください。

vPC ドメイン コンフィギュレーション モードでの単一モジュールにおける vPC の実行に対し、トラッキング対象オブジェクトを設定してある場合は、トラック オブジェクトを表示できます。

例 次に、Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) を実行するスイッチの vPC に関する要約情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show vpc brief
```

Legend:

(*) - local vpc is down, forwarding via vPC peer-link

```
vPC domain id           : 10
Peer status             : peer adjacency formed ok
vPC keep-alive status   : peer is alive
Configuration consistency status: success
vPC role                 : primary
Number of vPC configured : 1
```

vPC Peer-link status

```
-----
id  Port  Status Active vlans
--  ---  -
1   Po10  up    1-100
-----
```

```
vPC status
-----
id   Port   Status Consistency Reason                Active vlans
--   -
20   Po20   up     success    success                1-100
switch(config)#
```

次に、vPC に関する要約情報を表示する例を示します。この例では、ポートチャンネルで整合性検査が失敗し、デバイスが失敗の理由を表示します。

```
switch(config)# show vpc brief
```

Legend:

(*) - local vpc is down, forwarding via vPC peer-link

```
vPC domain id           : 10
Peer status             : peer adjacency formed ok
vPC keep-alive status   : peer is alive
Configuration consistency status: failed
Configuration consistency reason: vPC type-1 configuration incompatible - STP interface
port type inconsistent
vPC role                 : secondary
Number of vPC configured : 1
```

```
vPC Peer-link status
-----
id   Port   Status Active vlans
--   -
1    Po10   up     1-100
```

```
vPC status
-----
id   Port   Status Consistency Reason                Active vlans
--   -
20   Po20   up     failed    vPC type-1 configuration -
                                     incompatible - STP
                                     interface port type
                                     inconsistent
```

```
switch(config)#
```

次に、vPC 内のトラッキング対象オブジェクトに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show vpc brief
```

Legend:

(*) - local vpc is down, forwarding via vPC peer-link

```
vPC domain id           : 1
Peer status             : peer adjacency formed ok
vPC keep-alive status   : peer is alive
Configuration consistency status: success
vPC role                 : secondary
Number of vPC configured : 3
Track object            : 12
```

```
vPC Peer-link status
-----
id   Port   Status Active vlans
--   -
1    Po10   up     1-100
switch(config)#
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) を実行するスイッチでグレースフル タイプ 1 整合性の設定を含めて vPC の設定を表示する例を示します。

```
switch# show vpc brief
Legend:
          (*) - local vPC is down, forwarding via vPC peer-link

vPC domain id           : 100
Peer status             : peer link is down
vPC keep-alive status   : peer is alive, but domain IDs do not match
Configuration consistency status: success
Per-vlan consistency status : success
Type-2 consistency status : success
vPC role                : primary
Number of vPCs configured : 1
Peer Gateway            : Disabled
Dual-active excluded VLANs : -
Graceful Consistency Check : Enabled

vPC Peer-link status
-----
id   Port   Status Active vlans
--   -
1    Po100  down   -

vPC status
-----
id   Port   Status Consistency Reason          Active vlans
-----
1    Po1    down   success    success                        -

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature vpc	デバイスで vPC をイネーブルにします。
show port channel summary	ポート チャネルの情報を表示します。
vpc	vPC ドメインとピアを設定します。

show vpc consistency-parameters

仮想ポート チャンネル (vPC) インターフェイス全体で互換性が必要なパラメータの一貫性を表示するには、**show vpc consistency-parameters** コマンドを使用します。

```
show vpc consistency-parameters {global | interface port-channel channel-number |
vpls | vpc number}
```

構文の説明

global	両端の vPC ピア リンクのタイプ 1 グローバル パラメータのコンフィギュレーションをすべて表示します。
interface port-channel channel-number	両端の vPC ピア リンクのタイプ 1 インターフェイス パラメータのコンフィギュレーションをすべて表示します。
vpls	指定 vPC の vPC ピア リンクの両端ですべての VLAN の設定を、互換性のない VLAN を含めて表示します。
vpc number	指定した vPC の両端の vPC ピア リンクのタイプ 1 インターフェイス パラメータのコンフィギュレーションをすべて表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。
5.0(2)N2(1)	vpls キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

show vpc consistency-parameters コマンドは、両端の vPC ピア リンクの vPC タイプ 1 パラメータのコンフィギュレーションをすべて表示します。



(注)

すべてのタイプ 1 コンフィギュレーションは、vPC ピア リンクの両端で同じである必要があります。同じでないと、リンクが確立されません。

vPC タイプ 1 コンフィギュレーション パラメータは次のとおりです。

- ポート チャンネル モード : on, off, active
- チャンネルごとのリンク速度
- チャンネルごとのデュプレックス モード
- チャンネルごとのトランク モード
 - Native VLAN
 - トランク上の許可 VLAN
 - Native VLAN トラフィックのタギング

- Spanning Tree Protocol (STP; スパニング ツリー プロトコル) モード
- 多重スパニング ツリーの STP 領域コンフィギュレーション
- イネーブルまたはディセーブル状態 (VLAN ごとに同一)
- STP グローバル設定
 - Bridge Assurance 設定
 - ポート タイプ設定:すべての vPC ピア リンク ポートをネットワーク ポートとして設定することを推奨します。
 - ループ ガード設定
- STP インターフェイス設定 :
 - ポート タイプ設定
 - ループ ガード
 - ルート ガード
- Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット)
- 許可 VLAN ビット設定

vPC 機能がイネーブルになっていないと、このコマンドは使用できません。vPC をイネーブルにするための情報は、**feature vpc** を参照してください。

例

次に、Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) を実行するスイッチの vPC のグローバル整合性パラメータを表示する例を示します。

```
switch(config)# show vpc consistency-parameters global
```

Legend:

Type 1 : vPC will be suspended in case of mismatch

Name	Type	Local Value	Peer Value
QoS	1	([], [3], [0], [1-2], [4-5], [6])	([], [3], [0], [1-2], [4-5], [6])
Network QoS (MTU)	1	(1538, 2240, 5038, 4038, 9216, 9216)	(1538, 2240, 5038, 4038, 9216, 9216)
Network QoS (Pause)	1	(F, T, F, F, F, F)	(F, T, F, F, F, F)
Input Queuing (Bandwidth)	1	(5, 10, 20, 0, 20, 40)	(5, 10, 20, 0, 20, 40)
Input Queuing (Absolute Priority)	1	(F, F, F, T, F, F)	(F, F, F, T, F, F)
Output Queuing (Bandwidth)	1	(5, 10, 20, 0, 20, 40)	(5, 10, 20, 0, 20, 40)
Output Queuing (Absolute Priority)	1	(F, F, F, T, F, F)	(F, F, F, T, F, F)
STP Mode	1	Rapid-PVST	Rapid-PVST
STP Disabled	1	None	None
STP MST Region Name	1	""	""
STP MST Region Revision	1	0	0
STP MST Region Instance to VLAN Mapping	1		
STP Loopguard	1	Disabled	Disabled
STP Bridge Assurance	1	Enabled	Enabled
STP Port Type, Edge BPDUGuard	1	Normal, Disabled, Disabled	Normal, Disabled, Disabled
STP MST Simulate PVST	1	Enabled	Enabled
Allowed VLANs	-	1-330,335,338-450,1000-1023,2000-2023	1-330,333-447,1000-1028,2000-2018
Local suspended VLANs	-	331-334,336-337,448-45	-

■ show vpc consistency-parameters

0,2019-2023

switch(config)#

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) を実行するスイッチの vPC のグローバル整合性パラメータを表示する例を示します。

switch# **show vpc consistency-parameters global**

Legend:

Type 1 : vPC will be suspended in case of mismatch

Name	Type	Local Value	Peer Value
QoS	2	([], [3], [], [], [], [])	([], [3], [], [], [], [])
Network QoS (MTU)	2	(1538, 2240, 0, 0, 0, 0)	(1538, 2240, 0, 0, 0, 0)
Network QoS (Pause)	2	(F, T, F, F, F, F)	(1538, 2240, 0, 0, 0, 0)
Input Queuing (Bandwidth)	2	(50, 50, 0, 0, 0, 0)	(50, 50, 0, 0, 0, 0)
Input Queuing (Absolute Priority)	2	(F, F, F, F, F, F)	(50, 50, 0, 0, 0, 0)
Output Queuing (Bandwidth)	2	(50, 50, 0, 0, 0, 0)	(50, 50, 0, 0, 0, 0)
Output Queuing (Absolute Priority)	2	(F, F, F, F, F, F)	(50, 50, 0, 0, 0, 0)
STP Mode	1	Rapid-PVST	Rapid-PVST
STP Disabled	1	None	None
STP MST Region Name	1	""	""
STP MST Region Revision	1	0	0
STP MST Region Instance to VLAN Mapping	1		
STP Loopguard	1	Disabled	Disabled
STP Bridge Assurance	1	Enabled	Enabled
STP Port Type, Edge BPDUGuard	1	Normal, Disabled, Disabled	Normal, Disabled, Disabled
STP MST Simulate PVST	1	Enabled	Enabled
VTP domain	2	cisco	cisco
VTP version	2	2	2
VTP mode	2	Server	Server
VTP password	2		
VTP pruning status	2	Disabled	Disabled
VTP trunk status	2	Enabled	Enabled
Pruning eligible vlans	2	2-1001	2-1001
Allowed VLANs	-	1-10	1-2
Local suspended VLANs	-	3-10	-

switch#

次に、Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) を実行するスイッチの特定のポートチャネルの vPC の整合性パラメータを表示する例を示します。

switch(config)# **show vpc consistency-parameters interface port-channel 20**

Legend:

Type 1 : vPC will be suspended in case of mismatch

Name	Type	Local Value	Peer Value
STP Port Type	1	Default	Default
STP Port Guard mode	1	None	None
Speed	1	on	on
Duplex	1	10 Gb/s	10 Gb/s
	1	full	full

```

Port Mode      1      trunk
Native Vlan    1      1
MTU            1      1500
Allowed VLAN   -      1-100
bitset
switch(config)#

```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) を実行するスイッチの特定のポート チャンネルの vPC の整合性パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show vpc consistency-parameters interface port-channel 1
```

Legend:

Type 1 : vPC will be suspended in case of mismatch

Name	Type	Local Value	Peer Value
Shut Lan	1	No	No
STP Port Type	1	Default	Default
STP Port Guard	1	None	None
STP MST Simulate PVST	1	Default	Default
mode	1	on	on
Speed	1	10 Gb/s	10 Gb/s
Duplex	1	full	full
Port Mode	1	trunk	trunk
Native Vlan	1	1	1
MTU	1	1500	1500
VTP trunk status	2	Enabled	Enabled
Pruning eligible vlans	2	2-1001	2-1001
Allowed VLANs	-	1-3967,4048-4093	1-3967,4048-4093
Local suspended VLANs	-	3-10	-

```
switch#
```

次に、Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) を実行するスイッチの指定 vPC の vPC の整合性パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show vpc consistency-parameters vpc 1
```

Legend:

Type 1 : vPC will be suspended in case of mismatch

Name	Type	Local Value	Peer Value
Shut Lan	1	No	No
STP Port Type	1	Default	Default
STP Port Guard	1	None	None
STP MST Simulate PVST	1	Default	Default
lag-id	1	[(7f9b, 0-23-4-ee-be-64, 8001, 0-23-4-ee-be-64, 8001, 0, 0), (8000, 0-5-9b-23-40-3c, 0, 0, 0)]	[(7f9b, 0-23-4-ee-be-64, 8001, 0-23-4-ee-be-64, 8001, 0, 0), (8000, 0-5-9b-23-40-3c, 0, 0, 0)]
mode	1	active	active
Speed	1	1000 Mb/s	10 Gb/s
Duplex	1	full	full
Port Mode	1	access	access
MTU	1	1500	1500
Allowed VLANs	-	1	1
Local suspended VLANs	-	-	-

```
switch#
```

■ show vpc consistency-parameters

次に、Cisco NX-OS Release 4.1(3)N1(1) を実行するスイッチの VLAN の vPC の整合性パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show vpc consistency-parameters vlans
```

Name	Type	Reason Code	Pass Vlans
-----	----	-----	-----
STP Mode	1	success	0-4095
STP Disabled	1	success	0-4095
STP MST Region Name	1	success	0-4095
STP MST Region Revision	1	success	0-4095
STP MST Region Instance to VLAN Mapping	1	success	0-4095
STP Loopguard	1	success	0-4095
STP Bridge Assurance	1	success	0-4095
STP Port Type, Edge	1	success	0-4095
BPDUFILTER, Edge BPDUGuard			
STP MST Simulate PVST	1	success	0-4095
Pass Vlans	-		0-4095

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。
show port channel summary	ポート チャネルの情報を表示します。
vpc	vPC ドメインとピアを設定します。

show vpc orphan-ports

仮想ポート チャンネル (vPC) の一部ではないが、共通の VLAN を持っているポートを表示するには、**show vpc orphan-ports** コマンドを使用します。

show vpc orphan-ports

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show vpc orphan-ports コマンドは、vPC の一部ではないが、vPC の一部であるポートと同じ VLAN を共有しているポートを表示します。

vPC 機能がイネーブルになっていないと、このコマンドは使用できません。vPC をイネーブルにするための情報は、**feature vpc** コマンドを参照してください。

例

次に、vPC の孤立ポートを表示する例を示します。

```
switch(config)# show vpc orphan-ports
```

Note:

```
-----::Going through port database. Please be patient.::-----
```

```
VLAN          Orphan Ports
-----
1              Po600
2              Po600
3              Po600
4              Po600
5              Po600
6              Po600
7              Po600
8              Po600
9              Po600
10             Po600
11             Po600
12             Po600
13             Po600
14             Po600
--More--
switch(config)#
```

■ show vpc orphan-ports

関連コマンド

コマンド	説明
feature vpc	デバイスで vPC をイネーブルにします。
vpc orphan-port suspend	非 vPC ポートを一時停止します。
show vpc brief	vPC に関する要約情報を表示します。

show vpc peer-keepalive

仮想ポート チャンネル (vPC) のピア キープアライブ メッセージの宛先 IP とメッセージのステータスを表示するには、**show vpc peer-keepalive** コマンドを使用します。

show vpc peer-keepalive

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show vpc peer-keepalive コマンドは、vPC のピア キープアライブ メッセージの宛先 IP を表示します。また、このコマンドは送受信ステータスと、ピアからの最終の更新を秒単位およびミリ秒単位で表示します。



(注)

vPC ピア キープアライブ メッセージを送受信するために、ピア デバイスに個別の VRF を作成することを推奨します。ピア リンク自体を使用して vPC ピアキープアライブ メッセージを送信しないでください。

vPC 機能がイネーブルになっていないと、このコマンドは使用できません。vPC をイネーブルにするための情報は、**feature vpc** コマンドを参照してください。

例

次に、ピアキープアライブ メッセージの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show vpc peer-keepalive

vPC keep-alive status           : peer is alive
--Send status                   : Success
--Last send at                  : 2008.05.17 18:23:53 986 ms
--Sent on interface             : Eth7/16
--Receive status                : Success
--Last receive at               : 2008.05.17 18:23:54 99 ms
--Received on interface         : Eth7/16
--Last update from peer         : (0) seconds, (486) msec

vPC Keep-alive parameters
--Destination                   : 192.168.145.213
--Keepalive interval            : 1000 msec
--Keepalive timeout             : 5 seconds
--Keepalive hold timeout        : 3 seconds
```

■ show vpc peer-keepalive

```
--Keepalive vrf          : pkal
--Keepalive udp port     : 3200
--Keepalive tos         : 192
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。

show vpc role

ピア デバイスの仮想ポート チャンネル (vPC) ロールに関する情報を表示するには、**show vpc role** コマンドを使用します。

show vpc role

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show vpc role コマンドは、vPC ステータスに関する次の情報を表示します。

- ピアの隣接状態
- vPC ロール
- vPC MAC アドレス
- vPC システム プライオリティ
- 作業対象のデバイスの MAC アドレス
- 作業対象のデバイスのシステム プライオリティ

vPC 機能がイネーブルになっていないと、このコマンドは使用できません。vPC をイネーブルにするための情報は、**feature vpc** コマンドを参照してください。

例

次に、作業対象のデバイスの vPC ロール情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show vpc role

Primary:

vPC Role status
-----
vPC role                : primary
Dual Active Detection Status : 0
vPC system-mac          : 00:23:04:ee:be:01
vPC system-priority     : 32667
vPC local system-mac    : 00:22:55:79:ea:c1
vPC local role-priority  : 32667

Secondary:
```

■ show vpc role

```
vPC Role status
-----
vPC role                : secondary
Dual Active Detection Status : 0
vPC system-mac          : 00:23:04:ee:be:01
vPC system-priority     : 32667
vPC local system-mac    : 00:22:55:79:de:41
vPC local role-priority : 32667
switch(config)#
```

プライマリ vPC ピア デバイスをリロードすると、セカンダリ vPC ピア デバイスはプライマリ デバイスのロールを担います。次に、新しいプライマリ デバイス上で vPC ロールが表示される例を示します。

```
switch(config)# show vpc role

vPC Role status
-----
vPC role                : secondary, operational primary
Dual Active Detection Status : 0
vPC system-mac          : 00:23:04:ee:be:64
vPC system-priority     : 32667
vPC local system-mac    : 00:22:55:79:de:41
vPC local role-priority : 32667

switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
role	vPC デバイスにプライマリまたはセカンダリのロールを割り当てます。
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。
show port channel summary	ポート チャネルの情報を表示します。

show vpc statistics

仮想ポート チャンネル (vPC) の統計情報を表示するには、**show vpc statistics** コマンドを使用します。

show vpc statistics {peer-keepalive | peer-link | vpc number}

構文の説明	
peer-keepalive	ピアキープアライブ メッセージに関する統計情報を表示します。
peer-link	ピア リンクに関する統計情報を表示します。
vpc number	指定した vPC に関する統計情報を表示します。範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

peer-link パラメータは、vPC ピアリンク ポート チャンネルの **show interface port-channel channel number** コマンドと同じ情報を表示します。

vpc number パラメータは、指定した vPC ポート チャンネルの **show interface port-channel channel number** コマンドと同じ情報を表示します。

vPC 機能がイネーブルになっていないと、このコマンドは使用できません。vPC をイネーブルにするための情報は、**feature vpc** コマンドを参照してください。

例 次に、ピアキープアライブ メッセージに関する統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show vpc statistics peer-keepalive

vPC keep-alive status          : peer is alive

VPC keep-alive statistics
-----
peer-keepalive tx count:      1036
peer-keepalive rx count:     1028
average interval for peer rx: 995
Count of peer state changes: 1
switch(config)#
```

■ show vpc statistics

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC の情報を表示します。この機能がイネーブルになっていない状態でこのコマンドを入力すると、システムはエラーを表示します。
show port channel summary	ポート チャンネルの情報を表示します。

state enabled

ポート プロファイルをイネーブルにするには、**state enabled** コマンドを使用します。ポート プロファイルをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

state enabled

no state enabled

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

ポート プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ポート プロファイル設定をインターフェイスに適用するには、このコマンドを使用して、ポート プロファイルをイネーブルにします。ポート プロファイルをイネーブルにする前に、そのポート プロファイルを一定範囲のインターフェイスに設定し、継承できます。その後、指定されたインターフェイスで設定が実行されるように、そのポート プロファイルをイネーブルにする必要があります。

例

次に、イーサネット インターフェイス用に設定された ppEth という名前のポート プロファイルをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# state enabled
switch(config-port-prof)#
```

次に、イーサネット インターフェイス用に設定された ppEth という名前のポート プロファイルをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# no state enabled
switch(config-port-prof)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
inherit	インターフェイスにポート プロファイルをアタッチします。

コマンド	説明
show port-profile	すべてのポート プロファイルに関する情報を表示します。
show running-config port-profile	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

switch-profile

スイッチ プロファイルを作成または設定するには、**switch-profile** コマンドを使用します。スイッチ プロファイルを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

switch-profile *sw-profile-name*

no switch-profile *sw-profile-name* {**all-config** | **local-config**}

構文の説明

sw-profile-name	スイッチ プロファイルの名前。名前は大文字と小文字が区別され、最大 64 文字の英数字で、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
all-config	スイッチ プロファイルをすべてのローカルおよびピア設定と共に削除するように指定します。
local-config	スイッチ プロファイルおよびすべてのローカル設定を削除するように指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

設定同期モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

各ピアスイッチのスイッチ プロファイルを作成するには、このコマンドを使用します。Cisco Fabric Services (CFS) ピアの設定の両方のスイッチに同じプロファイル名を使用する必要があります。



(注)

このリリースの Cisco NX-OS では、スイッチのペアだけをピアとして設定できます。

各ピアスイッチに 1 つのアクティブ スイッチ プロファイルだけを設定できます。2 番目のスイッチ プロファイルを作成または設定すると、次のメッセージが表示されます。

```
Error: Another switch profile already exists. Cannot configure more than one switch-profile.
```

スイッチ上でローカルに作成された設定は、ピアスイッチ間に接続が確立され、設定がローカルスイッチで検証およびコミットされた後に同期化され、ピアスイッチで使用できるようになります。

インターフェイス設定、Quality of Service (QoS)、および仮想ポート チャネル (vPC) コマンドを含むようにスイッチ プロファイルを設定できます。FCoE コマンドはスイッチ プロファイルではサポートされません。

スイッチ プロファイルを削除すると、スイッチのローカル設定を使用したローカル スイッチ プロファイルを削除することも、ピアのローカル設定および設定情報を持つスイッチ プロファイルを削除することもできます。ピアは到達不能になります。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルを作成する例を示します。

Peer A

```
switch# configure terminal
switch(config)# cfs ipv4 distribute
switch(config)# exit
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルを作成する例を示します。

Peer B

```
switch# configure terminal
switch(config)# cfs ipv4 distribute
switch(config)# exit
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルおよびローカル設定を削除する例を示します。

Peer A

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# no switch-profile s5010 local-config
switch(config-sync)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
config sync	設定同期モードを開始します。
show switch-profile	スイッチで作成されたスイッチ プロファイルとコンフィギュレーション リビジョンを表示します。
sync-peers destination	設定同期用にピア スイッチを設定します。

sync-peers destination

スイッチ プロファイルにピアを追加するには、**sync-peers destination** コマンドを使用します。スイッチ プロファイルからピアを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

sync-peers destination ipv4-address

no sync-peers destination ipv4-address

構文の説明	destination	ピア スイッチの宛先 IPv4 アドレスを指定します。
	ipv4-address	A.B.C.D. 形式のピア スイッチの宛先 IPv4 アドレス。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、同期に含まれるピア スイッチを追加するために使用します。ピア スイッチの IPv4 アドレスが必要です。**config sync** コマンドを使用して設定同期をピア スイッチでイネーブルにすることができます。

スイッチ プロファイルにピアを追加したら、スイッチ プロファイルにコマンドを追加できます。

ピアは、ローカル設定のコンフィギュレーション リビジョンおよびリビジョンを維持します。ネットワークの停止後、ピア スイッチ間で接続が確立され、ピアが到達可能になると、各ピアはスイッチの設定が他のピアと同期する必要があるかどうかを確認します。変更された設定がピア間で同期されます。

スイッチ プロファイルからピアを削除すると、ピアに関するすべての設定情報がローカル スイッチから削除されます。

例 次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルに IPv4 アドレス 192.168.1.37 のピア スイッチを追加する例を示します。

Peer A

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# sync-peers destination 192.168.1.37
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルに IPv4 アドレス 192.168.120.3 のピア スイッチを追加する例を示します。

Peer B

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# sync-peers destination 192.168.120.3
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルから IPv4 アドレス 192.168.1.37 のピアを削除する例を示します。

Peer A

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
switch(config-sync-sp)# no sync-peers destination 192.168.1.37
switch(config-sync-sp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
command	スイッチ プロファイルに対してコマンドを追加、変更、または削除します。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
import	実行コンフィギュレーションからスイッチ プロファイルにコマンドをインポートします。
show switch-profile	スイッチで作成されたスイッチ プロファイルとコンフィギュレーション リビジョンを表示します。
show switch-profile status	スイッチ プロファイルのステータスを表示します。
switch-profile	スイッチ プロファイルを設定します。

system-mac

仮想ポート チャンネル (vPC) ドメインの MAC アドレスを手動で設定するには、**system-mac** コマンドを使用します。vPC システムのデフォルトの MAC アドレスを復元するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

system-mac *mac_address*

no system-mac *mac_address*

構文の説明

mac_address 指定した vPC ドメインに設定する aaaa.bbbb.cccc 形式の MAC アドレス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

vPC ドメインを作成するとき、Cisco NX-OS ソフトウェアは自動的に vPC システムの MAC アドレスを作成します。これは、Link Aggregation Control Protocol (LACP) などのリンクスコープ内の操作にだけ使用されます。ただし、vPC ドメインの MAC アドレスを手動で設定するように選択することもできます。

例

次に、vPC ドメインの MAC アドレスを設定する例を示します。

```
switch(config-vpc-domain)# system-mac 23fb.4ab5.4c4e
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show vpc peer-keepalive	ピアキープアライブ リンクのステータスを表示します。
show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
show vpc role	vPC システム プライオリティを表示します。
show vpc statistics	キープアライブ メッセージのコンフィギュレーションに関する情報を表示します。

system-priority

仮想ポート チャネル (vPC) ドメインのシステム プライオリティを手動で設定するには、**system-priority** コマンドを使用します。デフォルトのシステム プライオリティを復元するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

system-priority *priority_value*

no system-priority *priority_value*

構文の説明

<i>priority_value</i>	指定した vPC ドメインに設定するシステム プライオリティ。有効な範囲は 1 ~ 65535 で、デフォルト値は 32667 です。
-----------------------	---

コマンド デフォルト

システム プライオリティのデフォルトは 32667 です。

コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Link Aggregation Control Protocol (LACP) を実行しているときには、vPC ピア デバイスが LACP 上で必ずプライマリ デバイスになるように、vPC システム プライオリティを手動で設定することを推奨します。システム プライオリティを手動で設定する場合には、必ず同じプライオリティ値を両方の vPC ピア デバイスに設定します。これらの値が一致しないと、vPC は起動しません。

例

次に、vPC ドメインのシステム プライオリティを設定する例を示します。

```
switch(config-vpc-domain) # system-priority 3000
switch(config-vpc-domain) #
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
show vpc role	vPC システム プライオリティを表示します。

verify

スイッチ プロファイルのバッファリングされた設定を確認するには、**verify** コマンドを使用します。

verify

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

verify コマンドを使用する場合、設定のコマンドは、スイッチとピア スイッチで相互排他についてローカルに検証され、スイッチ プロファイルの設定が両方のスイッチで同じであることを確認するためにマージ チェックがピア スイッチで実行されます。



(注)

一度に 1 ピアだけ確認を開始できます。

マージ チェックはピア スイッチが新しい設定を受け取るたびに行われます。マージ チェックは受信した設定が受信スイッチにあるスイッチ プロファイルの設定と競合しないようにします。マージ チェックはマージまたはコミット プロセスで実行されます。エラーはマージ障害として報告され、手動で修正する必要があります。

スイッチ プロファイルに含まれるコマンドはスイッチ プロファイル外またはピア スイッチでは設定できません。スイッチ プロファイルの新規設定が、スイッチ プロファイル外または別のスイッチ プロファイル内にある設定と競合していないことを確認します。このプロセスは、相互排他 (mutex) チェックと呼ばれます。

次の例外が相互排他チェックに適用されます。

- インターフェイス設定：インターフェイス設定はスイッチ プロファイルの内側と外側の両方に存在できるため、相互排他チェックから除外されます。たとえば、インターフェイス イーサネット 1/1 は、スイッチ プロファイルの内部と外部に存在できます。
- ポート シャットダウン：動作またはデバッグ上の理由から、スイッチの 1 つでのみ、ポートをシャットダウンできます。**shutdown** および **no shutdown** コマンドは相互排他チェックから除外されます。
- ポート チャネル コマンド：最初のメンバー インターフェイスをポート チャネルに追加すると、ポート チャネルはメンバー インターフェイスから特定の設定を継承します。相互排他チェックは除外されます。

- ポート プロファイル: ポート プロファイルは **inherit** コマンドを使用してインターフェイスに適用されます。 **inherit** コマンドにより、一連のインターフェイス設定をすぐに適用できます。これらのコマンドは、インターフェイスで上書きできます。
- スイッチポート トランク許可 VLAN: **switchport trunk allowed vlan add** および **switchport trunk allowed vlan remove** コマンドは、コマンドを置き換えるのではなく、コマンドを変更します。これらのコマンドは、相互排他チェックから除外されます。

設定の確認に失敗すると、次のエラー メッセージが表示されます。

```
Failed: Verify Failed
```

show switch-profile status または **show switch-profile peer** コマンドを使用して、相互チェックの失敗、マージ障害、またはピア スイッチのステータスの理由を表示できます。

例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルの設定を確認する例を示します。

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# interface ethernet 1/1
switch(config-sync-sp-if)# switchport mode trunk
switch(config-sync-sp-if)# speed 1000
switch(config-sync-sp-if)# exit
switch(config-sync-sp)# verify
Verification Successful
switch(config-sync-sp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
commit	スイッチ プロファイル設定をコミットします。
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show switch-profile peer	ピア スイッチに関する情報を表示します。
show switch-profile status	スイッチ プロファイルのステータスに関する情報を表示します。
show running-config switch-profile	スイッチ プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

vpc

他のポートチャネルを仮想ポートチャネル (vPC) に移動して、ダウストリーム デバイスに接続するには、**vpc** コマンドを使用します。vPC からポートチャネルを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vpc number

no vpc number

構文の説明

<i>number</i>	ダウストリーム デバイスに接続するポートチャネル番号。範囲は 1 ~ 4096 です。
(注)	vPC ピア デバイスからダウストリーム デバイスに接続するためにポートチャネルに割り当てる vPC 番号は、両方の vPC ピア デバイスで同じである必要があります。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ポートチャネルには、デバイスの任意のモジュールを使用できます。



(注) 冗長性を確保するために、vPC ドメイン ダウストリーム ポートチャネルを 2 つのデバイスに接続することを推奨します。

ダウストリーム デバイスに接続するには、ダウストリーム デバイスからプライマリ vPC ピア デバイスへのポートチャネルを作成し、ダウストリーム デバイスからセカンダリ デバイスへの別のポートチャネルを作成します。最後に、各 vPC ピア デバイスで作業し、ダウストリーム デバイスに接続するポートチャネルに vPC 番号を割り当てます。vPC の作成時にトラフィックが中断されることはほとんどありません。



(注) ポートチャネル番号と vPC 番号を別の番号にすることはできますが、vPC 番号は両方の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチで同じである必要があります。

例

次に、ダウストリーム デバイスに接続するために、選択されたポートチャネルを vPC に設定する例を示します。

```
switch(config)# interface port-channel 20
```

```
switch(config-if)# vpc 5
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
show vpc brief	vPC ピア リンクに関する情報など、各 vPC の情報を表示します。
show vpc consistency-parameters	すべての vPC インターフェイス全体で一貫している必要があるパラメータのステータスを表示します。

vpc bind-vrf

仮想ポート チャンネル (vPC) に仮想ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンスをバインドするには、**vpc bind-vrf** コマンドを使用します。vPC と VRF 間でスタティック バインディングを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vpc bind-vrf vrf-name vlan vlan-id
```

```
no vpc bind-vrf vrf-name vlan vlan-id
```

構文の説明		
	<i>vrf-name</i>	VRF 名。
	vlan <i>vlan-id</i>	vPC にバインドする VLAN を指定します。VLAN ID の範囲は 1 ~ 3967 および 4049 ~ 4093 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン vPC に VRF をバインドするには、使用されていない VLAN を使用する必要があります。スイッチで使用されているインターフェイスを表示するには、**show interfaces brief** コマンドを使用します。

例 次に、VLAN 2 を使用してデフォルトの VRF に vPC をバインドする例を示します。

```
switch(config)# vpc bind-vrf default vlan 2
switch(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show interfaces brief	すべてのインターフェイスに関する設定情報を表示します。
	show vpc	vPC 設定情報を表示します。

vpc domain

仮想ポートチャネル (vPC) ドメインを作成して、ドメイン ID を割り当てるには、**vpc domain** コマンドを使用します。デフォルトの vPC 設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vpc domain *domain_id*

no vpc domain *domain_id*

構文の説明

domain_id vPC ドメイン ID。範囲は 1 ~ 1000 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

vPC ドメインを作成して、スイッチで vPC を設定する前に、**feature vpc** コマンドを使用して、vPC 機能をイネーブルにする必要があります。

vPC ドメインには、両方の vPC ピア デバイス、vPC ピア キープアライブ リンク、vPC ピア リンク、ダウンストリーム デバイスに接続されている vPC ドメイン内のすべてのポート チャネルが含まれます。各デバイスに設定できる vPC ドメイン ID は、1 つだけです。

vPC ドメイン ID を設定するときには、隣接する、ダブルサイド vPC を構成する可能性のある vPC 対応デバイスで使用されている ID とは異なる ID を必ず使用してください。システム ID はスイッチの MAC アドレス ID から取得されるため、この一意の ID が必要となります。vPC では、この MAC アドレスはドメイン ID から取得されます。その結果、ピアツーピアの vPC コンフィギュレーションでは、隣接するスイッチが同じドメイン ID を使用している場合、LACP ネゴシエーションでシステム ID の競合が発生し、LACP ネゴシエーションが成功しないことがあります。

vPC ドメインでは、**peer-config-check-bypass** コマンドを使用して、タイプチェックを無視するようにプライマリ vPC デバイスを必ず設定してください。

例

次に、vPC ドメインを作成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vpc domain 5
switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
feature vpc	スイッチで vPC をイネーブまたはディセーブにします。
peer-config-check-bypass	MCT がダウンしているときに、プライマリでのタイプ チェックを無視します。
peer-keepalive	vPC ピア キープアライブ リンクを設定します。
reload restore	指定された一定期間後に vPC ピア リンクを復元します。
role priority	vPC デバイスのロール プライオリティを設定します。
show vpc brief	各 vPC ドメインに関する要約情報を表示します。

vpc orphan-port suspend

仮想ポート チャンネル (vPC) セカンダリのピア リンクがダウンしたときに非 vPC ポートを一時停止するには、**vpc orphan-port suspend** コマンドを使用します。非 vPC ポートを再開するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vpc orphan-port suspend

no vpc orphan-port suspend

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

孤立ポートとも呼ばれる非 vPC ポートは、vPC の一部ではないポートです。

例

次に、孤立ポートを一時停止する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 1/20
switch(config-if)# vpc orphan-port suspend
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpc brief	vPC に関する要約情報を表示します。
show vpc orphan-ports	孤立ポートに関する情報を表示します。

vpc peer-link

指定した vPC ドメインのピア リンクとして設定するポート チャネルを各デバイス上で指定して、仮想ポート チャネル (vPC) ピア リンクを作成するには、**vpc peer-link** コマンドを使用します。ピア リンクを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vpc peer-link

no vpc peer-link

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

冗長性を確保するため、トランク モードで vPC ピア リンクとして指定したレイヤ 2 ポート チャネルを設定し、各 vPC ピア デバイス上の個別のモジュールで 2 つのポートを使用することを推奨します。

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは 768 個のハードウェア ポート チャネルがサポートされています。ハードウェアでサポートされているポート チャネルの合計数を表示するには、**show port-channel capacity** コマンドを使用します。

例

次に、このデバイスで vPC ピア リンクとして使用するポート チャネルを選択し、選択したポート チャネルを vPC ピア リンクとして設定する例を示します。

```
switch(config)# interface port-channel 20
switch(config-if)# vpc peer-link
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
reload restore	指定された一定期間後に vPC ピア リンクを復元します。
show port-channel capacity	デバイスで設定されているポート チャネルの数と、未使用のポート チャネルの数を報告します。
show running-config vpc	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

コマンド	説明
show vpc brief	vPC に関する要約情報を表示します。
show vpc brief	vPC ピア リンクに関する情報など、各 vPC の情報を表示します。
show vpc peer-keepalive	ピアキープアライブ メッセージの情報を表示します。